

大学・地域共創プラットフォーム香川
令和6年度第1回進学・教育部会 議事次第

日 時： 令和6年6月26日（水）10時30分
場 所： 徳島文理大学香川キャンパス 3号館（管理棟）2F 学園長室
さぬき市志度1314-1

内 容

- 1 令和5年度事業について
- 2 令和6年度事業計画について
- 3 ワーキンググループについて
- 4 中長期計画（2024～2028年度）の策定について
 - ・5年間のロードマップ
 - ・令和6年度ロードマップ
- 5 令和6年度スケジュールについて
- 6 その他

【会議資料】

- 1 令和5年度事業報告
- 2 令和6年度事業進捗状況
- 3 ワーキンググループ（再編案）
- 4 中長期計画（2024年度～2028年度）（案）
- 5 中長期計画（2024年度）ロードマップ（案）
- 6 令和6年度スケジュール（案）
- 7 出前講座アンケートのお願い
- 8 かがわキャンパスガイド更新ルール（案）

【大学・地域共創プラットフォーム香川】
令和6年度第1回進学・教育部会 出席者

《令和6年6月26日(水) 10:30～》 会場：徳島文理大学香川キャンパス

(敬称略)

	構成員	部会委員所属名	部会委員職名	部会委員氏名（ふりがな）	出欠 状況	代理 出席	代理出席者職名	代理出席者氏名
幹事	徳島文理大学	地域連携センター	センター長	中筋 政人（なかすじ まさと）	○	－		
副幹事	四国学院大学	入試課	課長	山田 祐一郎（やまだ ゆういちろう）	○	－		
県内大学等	香川大学	－	理事・副学長	野崎 武司（のざき たけし）	○	－		
	香川県立保健医療大学	－	副学長	片山 陽子（かたやま ようこ）	○	－		
	高松大学	入学センター	センター長	土井 理裕（どい まさひろ）	○	－		
	香川短期大学	入試センター	センター長	勘原 利幸（かんばら としゆき）	○	－		
	高松短期大学	－	副学長	出木浦 孝（できうら たかし）	○	－		
	せとうち観光専門職短期大学	観光振興学科	教授	田保 顕（たほ あきら）	×	○	事務局次長	三好 徹也（みよし てつや）
	香川高等専門学校	－	教務主事	吉永 慎一（よしなが しんいち）	×	－		
行政機関	香川県	政策部地域活力推進課	課長	臼山 勇（うすやま いさむ）	○	－		
	高松市	政策局政策課	局次長兼課長	長谷山 隆義（はせやま たかよし）	×	○	企画担当課長補佐	齋藤 直樹（さいとう なおき）
		政策局政策課地域活力推進室	室長	藤川 盛司（ふじかわ せいじ）	×	○	企画員	永合 美代（なごう みよ）

陪席者

構成員等	陪席者所属名	陪席者職名	陪席者氏名（ふりがな）
香川県	地域活力推進課	課長補佐	常金 志信（つねかね しのぶ）
		主任	島倉 恒太（しまくら こうた）
		主任	坂本 未侑（さかもと みゆ）
	教育委員会事務局高校教育課	主任指導主事	筒井 京（つつい けい）
P F 事務局（香川大学）	地域連携推進課	課長補佐	長岡 元彦（ながおか もとひこ）
	地域連携推進課	課員	児玉 隆（こだま たかし）
徳島文理大学	地域連携センター	副センター長	箕田 康一（みた こういち）
		派遣職員	岩根 妃公子（いわね いくこ）

大学・地域共創プラットフォーム香川 進学・教育部会 令和5年度事業報告

	取組内容	中長期計画(2019年度～2023年度)		2023年度		
		達成目標	活動指標	計画	実績	評価
1	出前講座・体験講座等への講師派遣	①出前講座 出前講座等の講座名や内容を年度初めに情報公開し、活用について積極的に働きかける。 【せとうち観光専門職短期大学】	毎年5件ずつ増加 2023年度 150件	高校生等を対象に、大学等の教職員が専門分野を活かした出前講座の提供を拡充・強化する。 アンケート調査を実施する。 目標 150件	実施件数: 75件 講座情報を各高校へ郵送して周知 アンケート調査を実施	B ほぼ計画通りに実施できた。 アンケート調査の回答数を増やすことが課題である。 アンケート結果(抜粋) 講座の内容について ・期待以上だった 50.0% ・期待通りだった 50.0% (回答数 22件)
		②香川わくわく子ども大学 小学生等を対象に、大学等の教職員がそれぞれの専門分野を活かした体験講座を提供する。 (2023年度～) 【徳島文理大学】	2023年度 10講座	複数大学等が連携して講座を開催する。 目標 10講座	開講数: 13講座 参加者数: 小学生 286名(親子 232組) 開催校・開催日: 高松大学(8/5) 徳島文理大学(7/22、7/29、8/19、8/27) 香川短期大学(8/11、9/30、11/25) 産学官共創チャレンジ支援補助金を活用	A 目標数を上回る講座を開催できた。 参加者のアンケート結果(抜粋) ・とても満足できた 84.5% ・満足できた 15.0% (回答数 200件)
2	探究型学習支援プロジェクトへの講師派遣	県内高校の要請により、「総合的な探究の時間」に大学等から講師を派遣して指導・助言を行う。(2022年度～) 【四国学院大学】	2023年度 1校	目標 1校	高松北高校に「グローバルスタディ成果発表会(「総合的な探究の時間」の指導助言者として大学から教員1名を派遣(11/24)	A 高校からの要望により1大学から教員を派遣した。高校のニーズに沿うよう柔軟に実施したい。
3	県内大学等合同進学説明会開催	共同で高校に出向いて進学説明会を実施する。 【香川県】	毎年1校ずつ増加 業者主催の説明会との差別化 2023年度 7校	当該高校を卒業した在学生や、県内企業に就職した卒業生も活用して説明会を実施する。 目標 6校	実施校数: 4校 実施校・実施日: 香川中央高校(6/15)、高松中央高校(7/3)、小豆島中央高校(7/20)、高松東高校(9/27) 高松中央高校及び小豆島中央高校では県内大学等から県内就職したOGが参加し、ロールモデルとして県内大学等をPR	B 県内大学等がより多くの高校生/高校教員と接する機会を作るため、説明会の実施高校を増やすことが課題である。
4	合同大学説明会・交流会開催	県内高校教員を対象とする県内大学等による合同の説明会・交流会を開催する。(2024年度～) 【四国学院大学・せとうち短大】	—	県内高校教員対象の県内大学等合同説明会・交流会開催に向けて検討する。	高校から意見聴取し、香川県教育委員会など関係機関と検討した。次年度は県内大学等合同進学説明会等と並行して実施することとした。	B 高校教員との交流会は高校側に負担となるため実施が難しい。高校のニーズに沿った形で実施することが課題である。
5	高大連携キャリアデザイン研修	県高等学校PTA連合会との連携による保護者対象の研修、広報誌やホームページへの寄稿などを行う。(2023年度～) 【高松大学・高松短大】	・大学等合同説明会 目標 1回 ・機関誌「高P連だより」への大学等記事掲載 目標 2回(10月、3月発行)	・大学等合同説明会開催 目標 1回 ・「高P連だより」への記事掲載 目標 2回	・大学等合同説明会 開催日: 12/9 会場: 国際会議場 参加者数: 県内高校生・保護者・高校教員等、会場約190名、オンライン約140名 ・「高P連だより」に2大学、2短大の記事を2回に分けて掲載(10月、3月発行)	A 計画通り実施できた。 ・大学等合同説明会に対するアンケート結果(会場で実施)、「とても良かった」と「良かった」を合わせた評価が97%であった。

	取組内容	中長期計画(2019 年度～2023 年度)		2023 年度		
		達成目標	活動指標	計画	実績	評価
6	単位互換	県内大学生等に多様かつ柔軟な学修の機会を提供する。 【県立保健医療大学】	2023 年度 750 講座 受講者 20 人	目標 730 講座、受講者数 10 人	講座数:554 講座 受講者数 10 人	B 地理的・時間的制約、学生の動機付けなどが課題である。オンデマンドや e ラーニング等の活用、地域志向科目などの開講、学生への積極的な働きかけなどが課題である。
7	FD・SD活動	・高等教育の中長期グランドデザイン、リスクマネジメント、数理・データサイエンス・AI教育等を研修内容とする。 【香川大学】	2023 年度 3 回、参加者数 140 人	目標 3 回、受講者数 計 140 人	・「地方大学の新たな選択肢～これからの魅力ある地方大学とは～」(9/22) 参加者数 27 名 ・危機管理シンポジウム(12/4) 参加者数 189 名 ・数理・データサイエンス・AI 共育強化拠点コンソーシアム四国ブロックシンポジウム(3/6)参加者数 92 名	A 計画通り実施できた。教育・研究機能の充実や地域貢献に資するようなテーマ設定が課題である。
8	国際交流会(学生)の開催	・各大学等の外国人学生間の交流の機会を設け交流を促進する。【香川高等専門学校】	2023 年度 2 回、参加者数 70 人	目標 1 回 30 人	うどん打ち体験で交流(12/17) 参加者数 6 名(4 カ国)	C 楽しく交流できたが、実施時期、内容、参加募集方法などの見直しが課題である。
9	リスクマネジメント活動	自然災害や人為災害等に対する大学等のリスクマネジメント体制を構築する。 【香川大学】	2023 年度 2 回	目標 2 回	危機管理シンポジウム(12/4、香川大学主催、PF 香川共催) 参加者数:189 名(会場 69 名、オンライン 120 名)	A 計画通り実施できた。香川大学で行われるイベントに構成大学等から積極的に参加するよう働きかけたい。
10	地域における高等教育の中長期グランドデザイン検討会	長期的な高等教育の展望、教育の質の保証等について議論し、大学等の地域における教育改革や教育改善を図る。(2023 年度～)【徳島文理大学】	2023 年度 1 回	目標 1 回	・外部講師招聘による研修会 1 回「地方大学の新たな選択肢～これからの魅力ある地方大学とは～」(9/22) 参加者数 27 名 ・研修会後に検討会を実施した。	A 計画通り実施できた。
11	数理・データサイエンス・AI教育事業	県内高等教育機関の学生が、数理・データサイエンス・AIを習得できるよう教育体制の構築・普及を行う。同時に、この分野を牽引できる国際競争力のある人材および産学で活躍できるトップクラスのエキスパート人材を育成する。(2022 年度～) 【香川大学】	2023 年度 ・シンポジウム開催 1 回 ・他県研修会の随時案内	・シンポジウムを開催する。目標 1 回 ・他県研修会を随時案内する。	・数理・データサイエンス・AI 共育強化拠点コンソーシアム四国ブロックシンポジウム(3/6) 参加者数 92 名(会場 41 名、オンライン 51 名) ・他県研修会等を随時案内	A 計画通り実施できた。この事業をさらに広め、充実させるよう努めたい。

	取組内容	中長期計画(2019 年度～2023 年度)		2023 年度		
		達成目標	活動指標	計画	実績	評価
12	広報活動1 デジタルキャンパスガイドの作成・公開	・「キャンパスガイド」を作成し、高校生や中学生等に配布する。 (～2022 年度) ・県内大学等の情報をまとめた Web サイト「かがわキャンパスガイド」を作成・公開する。 (2023 年度～) 【香川県】	2023 年度 1 回	・県内大学等の情報をまとめた Web サイト「かがわキャンパスガイド」を作成・公開する。 ・高校1、2年生対象に、学習アプリでの広告配信を実施する。	Web サイト「かがわキャンパスガイド」を作成・公開した。(公開日 9/28) 学習アプリでの広告配信を実施した。 (3/6～3/11) 閲覧者数 2,706 名(3/31 現在)	A 計画通り実施できた。より多くの高校生や保護者等に閲覧されるような広報の在り方が課題である。
13	広報活動2	大学・地域共創プラットフォーム香川や大学等のホームページ、メディア等を活用して広報活動を積極的に行い、県内大学等への進学増加や若者の県内定着に繋げる。 (2022 年 3 月までは大学コンソーシアム香川として活動) ①ホームページの活用 ・大学コンソーシアム香川のホームページを作成し、内容を充実する。(～2022.3) ・大学・地域共創プラットフォーム香川のホームページを作成し、県民等への情報提供や広報活動に努める。(2022.4～) 【徳島文理大学・(事務局)】 ②オープンキャンパスの共同広告をする。【徳島文理大学】 ③高校にパンフレットスタンド設置を推進 設置状況を年間 3 回確認し補充 (設置は 2022 年度で終了、設置校数 23)【高松大学・高松短大】	2023 年度 ①年間50件以上更新 ②年1回 ・新聞広告(～2019 年度) ・ホームページ掲載(2020 年度～) ③毎年募集・設置 年間 3 回補充	①目標 50 件 ②大学等の概要やオープンキャンパスの日程等を周知する。 ③資料補充 3 回	①行事等開催予定公開 7 件 行事等開催報告公開 18 件 ②オープンキャンパス日程一覧 1 回 各大学等のサイトにリンクさせることで効果的に情報発信した。 ③各大学等においてパンフレットスタンドに資料を適宜補充した。	B ①行事等をすべて公開できなかった。効果的な情報発信に努めたい。 ②高校生や保護者だけでなく高校教員にもオープンキャンパスへの参加を働きかけたい。 ③オープンキャンパスや入試等に合わせてタイミングよく資料補充をすることが課題である。
14		県の総合計画等に沿って 2 項目設定 (2023 年度) ・自県大学進学者の割合 目標 21% ・県内大学卒業生の県内就職率 目標 52%				

【評価】

S: 当初の計画を超え、目標を上回る顕著な成果が得られている。

A: 当初の計画を着実に実行してきており、目標に対し十分な成果が期待できる。

B: 当初の計画をほぼ実行できているが、一部に遅延、未達等の取組があり、目標の達成に継続した努力が求められる。

C: 当初の計画について半数以上の取組について未達であり、取組や目標に関して一定の見直しが必要である。

D: 当初の計画を大幅に下回っており、目標の達成見込みがないため、計画に関する抜本的な見直しが必要である。

「大学・地域共創プラットフォーム香川」進学・教育部会 令和6年度事業進捗状況

【企画・運営WG】※責任者：徳島文理大学

取組名	取組内容	進捗状況	担当者	予算要望額
①企画・進捗管理・調整	進学・教育部会における取組の企画、進捗管理及び調整を実施	—	徳島文理大学	0 円
② I R	県内大学等に関する進学状況の分析、高校生・保護者・高校教員等への意識調査を実施し高大接続対策に活用	高大連携キャリアデザイン研修（保護者対象進学説明会）でのアンケート調査、分析（予定）	徳島文理大学	0 円
③事業評価と報告	進学・教育部会における取組に関する評価を実施し、総会・運営委員会に報告	評価を担当する組織を検討中	徳島文理大学	0 円
⑤共同研究	地域の課題解決を目的とした産学官連携の共同研究	—	徳島文理大学	0 円

【初等中等教育機関連携WG】※責任者：四国学院大学

取組名	取組内容	進捗状況	担当者	予算要望額
①出前講座・体験講座等への講師派遣	高校生等を対象に、大学等の教職員がそれぞれの専門分野を活かした出前講座・体験講座の提供を拡充・強化	(1) 出前講座 各大学等において実施中 各大学から頂いた講座リストをもとに分野別リストを作成・配布済み 高校向けアンケート・フォームのURLと案内状を各大学に配布済み	せとうち観光専門職短期大学	10,000 円
		(2) 体験講座 「香川わくわく子ども大学」 14講座を開催予定 高松大学（8/24） 徳島文理大学（7/20、7/27、8/3、8/10） 香川短期大学（8/20、8/21、9/28） チラシ配布、自治体広報誌により募集案内 ※産学官共創チャレンジ支援補助金活用	徳島文理大学	804,000 円 ※補助金充当額
		(3) 探究型学習支援プロジェクトへの講師派遣 未実施 2024. 6. 19時点で講師派遣の要請なし。2024. 6. 28 香川県教育研究会「探究部会」へ出席予定。	四国学院大学	0 円
②県内大学等合同進学説明会開催	県内大学等が高校に出向き、合同で実施する説明会を、ロールモデルとしての卒業生の参加や運営方法の改善を通じ、より効果的に実施	県内高校 5校で実施予定 琴平高校（5/11） 香川中央高校（6/13） 高松中央高校（6/28） 小豆島中央高校（7/19） 高松東高校（9/25）	香川県	1,050,000 円
③教員対象県内大学等合同進学説明会開催	高校教員を対象に県内大学等が合同で説明会を実施	実施に向けて、県教委や高校と協議中 香川中央高校（6/13）、高松中央高校（6/28）、小豆島中央高校（7/19）で実施の県内大学等合同進学説明会の香川県地域活力推進課と高校との事前打合せに出席、教員を対象とした県内大学等合同進学説明会実施に向けて高校教員のニーズ把握を実施中	四国学院大学 せとうち観光専門職短期大学	0 円
④高大連携キャリアデザイン研修	県高等学校PTA連合会との連携による保護者対象の研修事業を実施（合同説明会、大学等訪問、機関紙やホームページでの広報）	大学等合同説明会（11/9） 機関紙「高P連だより」に県内大学等の紹介記事を掲載（10月、3月） 産学官共創チャレンジ支援補助金活用	高松大学 高松短期大学	530,000 円 ※補助金充当額

取組名	取組内容	進捗状況	担当者	予算要望額
⑤外国人留学生対象の合同進学説明会開催	日本語学校などの外国人留学生を対象にした県内大学等への進学促進のための合同説明会の開催	日程・内容等を調整中 穴吹ビジネスカレッジ日本語学校（7/26 13:30～16:30当該校にて実施予定） ヒューチャーデザイン日本語学校（7/29 14:00～16:00当該校にて実施予定） 岡山外語学院等（7月実施が困難な場合は秋に実施 可能か継続検討） 参加校：四国学院大学・高松大学・徳島文理大 学・香川短期大学・せとうち観光専門職短期大 学・高松短期大学	香川短期大学	50,000 円

【高等教育機関連携WG】※責任者：香川大学

取組名	取組内容	進捗状況	担当者	予算要望額
①大学等間の単位互換	多様かつ柔軟な学修を推進するため、県内大学等の開設科目の相互履修と単位認定を実施 新たに授業科目の共同開発を検討	令和6年度履修案内(単位互換提供科目)を関係大学等で共有（3/26）	香川県立保健医療大学	10,000 円
②大学等教職員のFD・SD研修の実施（香川大学）	大学等教職員研修の共同実施	令和6年9月～令和7年3月に3回実施予定 (1) 香川大学危機管理シンポジウム（予定） (2) 数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム四国ブロックシンポジウム（予定） (3) 地域における高等教育の中長期グランドデザインに係る講演（予定）	(1) (2) 香川大学 (3) 徳島文理大学	0 円
③国際交流会（学生）の開催	県内大学等の留学生交流会を、参加大学等を拡大・拡充して開催	開催に向け調整中	香川高等専門学校	100,000 円
④リスクマネジメント活動	災害等に対するリスクマネジメント体制の構築	香川大学危機管理シンポジウム（予定）	香川大学	0 円
⑤地域における高等教育の中長期グランドデザイン検討会	大学等の地域における教育改革や教育改善につなげる中長期グランドデザインについて情報交換・検討	・外部講師を招聘しての研修会（予定） ・情報交換、検討	徳島文理大学	100,000 円
⑥数理・データサイエンス・AI教育事業	県内高等教育機関の学生が、数理・データサイエンス・AIを習得できる教育体制の構築・普及	・数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム四国ブロックシンポジウム（予定） ・他県各ブロックにおけるシンポジウム等の案内	香川大学	0 円

【広報活動WG】※責任者：高松大学

取組名	取組内容	進捗状況	担当者	予算要望額
①広報活動	オープンキャンパス日程の周知、パンフレットスタンドを活用した広報などを実施	(1) オープンキャンパス日程一覧をホームページに掲載(5/14) (2) 高校に設置のパンフレットスタンドに広報資料を随時補充	(1) 徳島文理大学 (2) 高松大学、高松短期大学	0 円
②デジタルキャンパスガイドの効果的な活用（香川県）	Web広告等を活用し、デジタルキャンパスガイドを県内外の高校生に広く情報発信	・かがわキャンパスガイドチラシ作成（7月中旬頃予定） ・キャンパスガイドHP更新ルール案の策定 ・WEB広告の実施（7～9月頃予定）	香川県	913,000 円

進学・教育部会ワーキンググループ（案）

資料3

令和4年度第6回部会再編 2023. 3. 15
令和5年度第4回部会再編 2024. 3. 14
令和6年度第1回部会再編 2024. 6. 26 (予定)

ワーキンググループ	取 組		内 容	保健医療大学	香川高等専門学校	香川大学	香川短期大学	四国学院大学	専門職短期大学 せとうち観光	高松短期大学・ 高松大学	徳島文理大学	香川県	高松市
企画・運営WG ※責任者：徳島文理大学	企画・進捗管理・調整 I R、事業評価と報告		進学・教育部会における事業の企画・進捗管理・調整 大学等の教育改革や教育改善に資する諸データの収集・分析 部会に係る取組の評価 等			○	○			○	◎	○	○
	共同研究		地域の課題解決を目的とした産学官連携の共同研究			○	○			○	◎	○	
	私立大学・短大課題検討会		私立大学等改革総合支援事業等への対応				○	○	○	○	◎		
初等中等教育機関連携WG ※責任者：四国学院大学	出前講座・体験講座等への講師 派遣	出前講座	高校生等を対象に、大学等の教職員がそれぞれの専門分野を活かし て出前講座を提供						○				
		香川わくわく子ども大学	小学生を対象とした大学等による体験講座を夏休みに実施								○		
		探究型学習支援プロジェクト	高校の「総合的な探究の時間」の活動への指導・助言等に大学等教 員を派遣					○					
	県内大学等合同進学説明会開催		県内大学等が高校に出向き、合同で実施する説明会をロール モデルとしての卒業生の参加や運営方法の改善を通じ、より 効果的に実施									○	
	教員対象県内大学等合同進学説明会開催		高校教員を対象に県内大学等が合同で説明会を実施					◎	○				
	高大連携キャリアデザイン研修		県高等学校PTA連合会との連携による保護者対象の研修事業を実施 （合同説明会、大学等訪問、機関紙やHPでの広報）							○			
	外国人留学生対象の合同進学説明会開催		日本語学校などの外国人留学生を対象にした県内大学等への進学促 進のための合同説明会の開催				○						
高等教育機関連携WG ※責任者：香川大学	大学等間の単位互換		多様かつ柔軟な学修を推進するため、県内大学の開設科目の相互履 修と単位認定を実施	○									
	大学等教員のF D ・ S D 研修の実施		大学等教職員研修の共同実施			◎					○		
	国際交流会（学生）の開催		県内大学等の留学生交流会を、参加大学等を拡大・拡充して開催		○								
	リスクマネジメント活動		災害等に対するリスクマネジメント体制の構築			○							
	地域における高等教育の中長期グランドデザイン検討会		大学等の地域における教育改革や教育改善につなげる中長期グランド デザインについて情報交換・検討								○		
	数理・データサイエンス・A I 教育		県内高等教育機関の学生が、数理・データサイエンス・A I を習得 できる教育体制の構築・普及			○							
広報活動WG ※責任者：高松大学	広報活動		オープンキャンパス日程の周知、パンフレットスタンドを活用した 広報などを実施							◎	○		
	デジタルキャンパスガイドの効果的な活用		W e b 広告等を活用し、デジタルキャンパスガイドを県内外の高校 生に広く情報発信									○	

○印は担当者 ◎印はリーダー

大学・地域共創プラットフォーム香川

中長期計画（2024年度～2028年度）
～高等教育機関を基点とした地域の活性化～

（案）

2024年 月 日 策定

大学・地域共創プラットフォーム香川 中長期計画 目次

1	大学・地域共創プラットフォーム香川の概要	・ ・ 1
2	中長期計画について	
	(1) 計画の目的	・ ・ 3
	(2) 活性化対象地域	・ ・ 3
	(3) 計画の期間	・ ・ 3
	(4) 現状と課題	・ ・ 3
	(5) ビジョン・基本目標及び数値目標	・ ・ 9
	(6) 評価体制・評価時期・評価の反映方法	・ ・ 9
	(7) ロードマップ	・ ・ 10

※2024年度ロードマップは別紙参照

【参考】

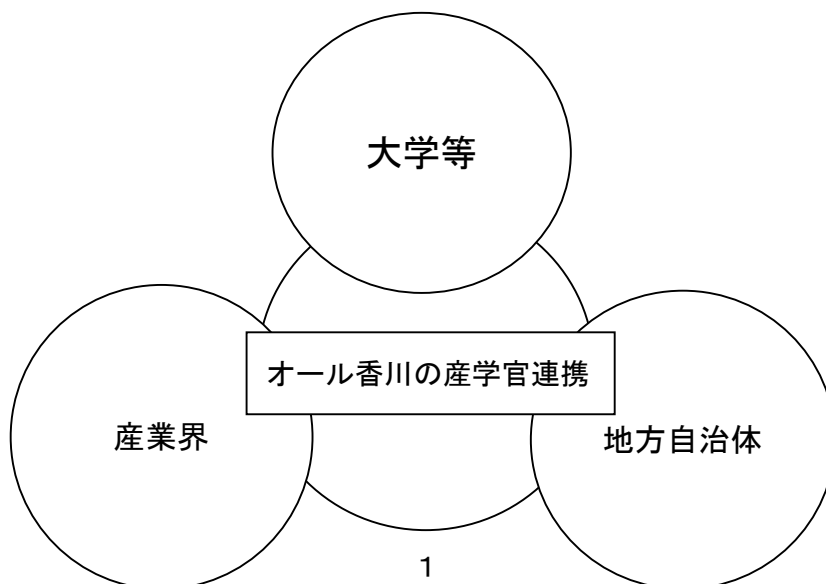
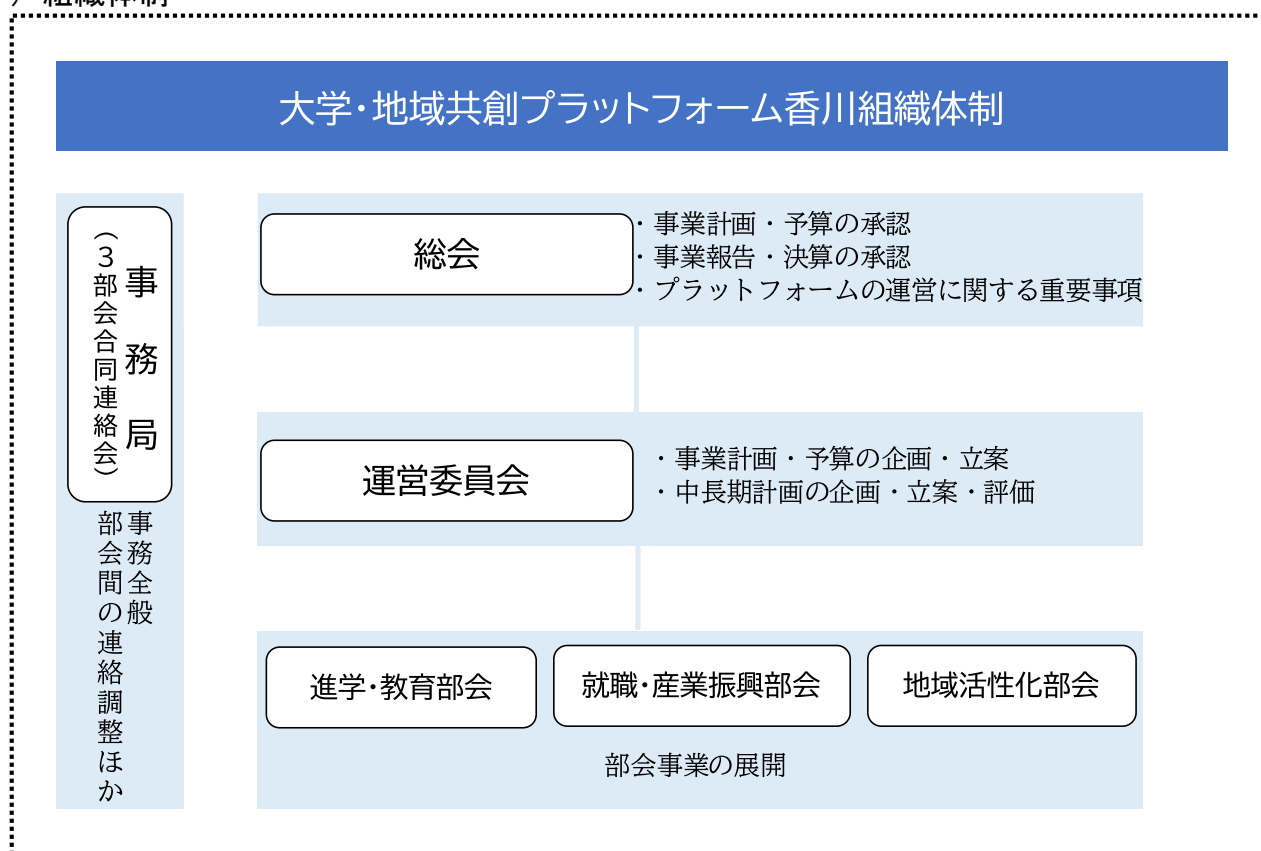
「県内大学等の学術分野マップ」 ・ ・ 14

「『人生100年時代のフロンティア県・香川』実現計画（令和3(2021)年度～令和7(2025)年度）」（抜粋） ・ ・ 15

1 大学・地域共創プラットフォーム香川の概要

- 「大学・地域共創プラットフォーム香川」（以下、「本プラットフォーム」という。）は、前身組織である「大学コンソーシアム香川（2015年9月～2022年3月）」及び「COC+-NEXTかがわ（2021年4月～2022年3月）」での県内進学及び地域定着に係る事業の実績を踏まえ、これを承継・強化するとともに、産業界、地方自治体を加えた産学官のネットワークを形成し、地域社会・地域経済を支える人材の育成・定着及びその人材が活躍する場の形成に向けた議論と実践による共創を通じて、地域社会の発展に寄与することを目的として、令和4年（2022年）3月に設立された。
- 組織運営体制として、総会の下に運営委員会を置き、進学・教育部会、就職・産業振興部会、地域活性化部会の3つの部会を設け、事業を推進している。事務局は、総会及び運営委員会の事務その他、プラットフォーム全般の事務を処理する。また、事務局内に設置する3部会合同連絡会が、事業実施に関する部会間の連絡調整等を担っている。

（1）組織体制



(2) 構成機関

大学等（9機関）
香川大学
香川県立保健医療大学
四国学院大学
徳島文理大学
高松大学
香川短期大学
高松短期大学
せとうち観光専門職短期大学
香川高等専門学校

産業界（8機関）
香川県商工会議所連合会
香川県商工会連合会
香川県中小企業団体中央会
香川経済同友会
香川県中小企業家同友会
香川県農業協同組合中央会
香川県漁業協同組合連合会
香川県銀行協会

地方自治体（18機関）
香川県
高松市
丸亀市
坂出市
善通寺市
観音寺市
さぬき市
東かがわ市
三豊市
土庄町
小豆島町
三木町
直島町
宇多津町
綾川町
琴平町
多度津町
まんのう町

2 中長期計画について

(1) 計画の目的

- 本計画は、高等教育機関の現状や課題を踏まえ、「香川県的高等教育及び地域の活性化」に資するために、本プラットフォームがどのような役割を果たすべきか、その進むべき方向性を確認するために策定するものであり、今後5年間の活動の指針となるものである。

(2) 活性化対象地域

- 本計画の活性化対象地域は、本プラットフォームが活性化の対象として設定している地域（香川県）とする。

(3) 計画の期間

- 令和6(2024)年度から令和10(2028)年度までの5年間とする。

(4) 現状と課題

- 本県の人口は、平成11(1999)年の約103万人をピークに減少に転じ、令和5(2023)年の人口は約93万人と、平成12(2000)年以来24年連続で減少している。また、人口に占める生産年齢人口の割合も減少傾向にあり、地域社会・地域経済を支える人材不足が予測される。【図表1、2】

- 本プラットフォームにおいて実施した、「県内企業の採用活動に関する実態調査（令和6年3月）」では、県内企業の平均人材充足率は62%となっており、すでに県内における人材不足が深刻化していることが分かる。

- 大学進学者の多くが県外へ進学している。県内高校出身者で令和5年4月に大学に進学した者のうち、県内大学へ進学した者の割合は17.4%、短大へ進学した者のうち、県内短大へ進学した者の割合は67.3%である。【図表3】

- 県内の大学・短大の入学定員及び入学者数は減少傾向にあり、2023年度における県内の大学の入学定員充足率は93.2%、短大の入学定員充足率は67.1%となっている。大学進学率は増加傾向にあるものの、18歳人口自体は減少傾向にあり、文部科学省「2040年の各都道府県進学者数等推計（2021年基準）」では、2040年の香川県の大学入学定員充足率推計を77.7%としている。【図表4、5、6】

- 県内出身者が県内大学・短大・高等専門学校に進学すれば、約8割が県内に就職していることから、県内の地域社会・地域経済を支える人材を確保するためには、県内就職率を増加させるとともに、県内進学率の向上を目指す必要がある。【図表7】

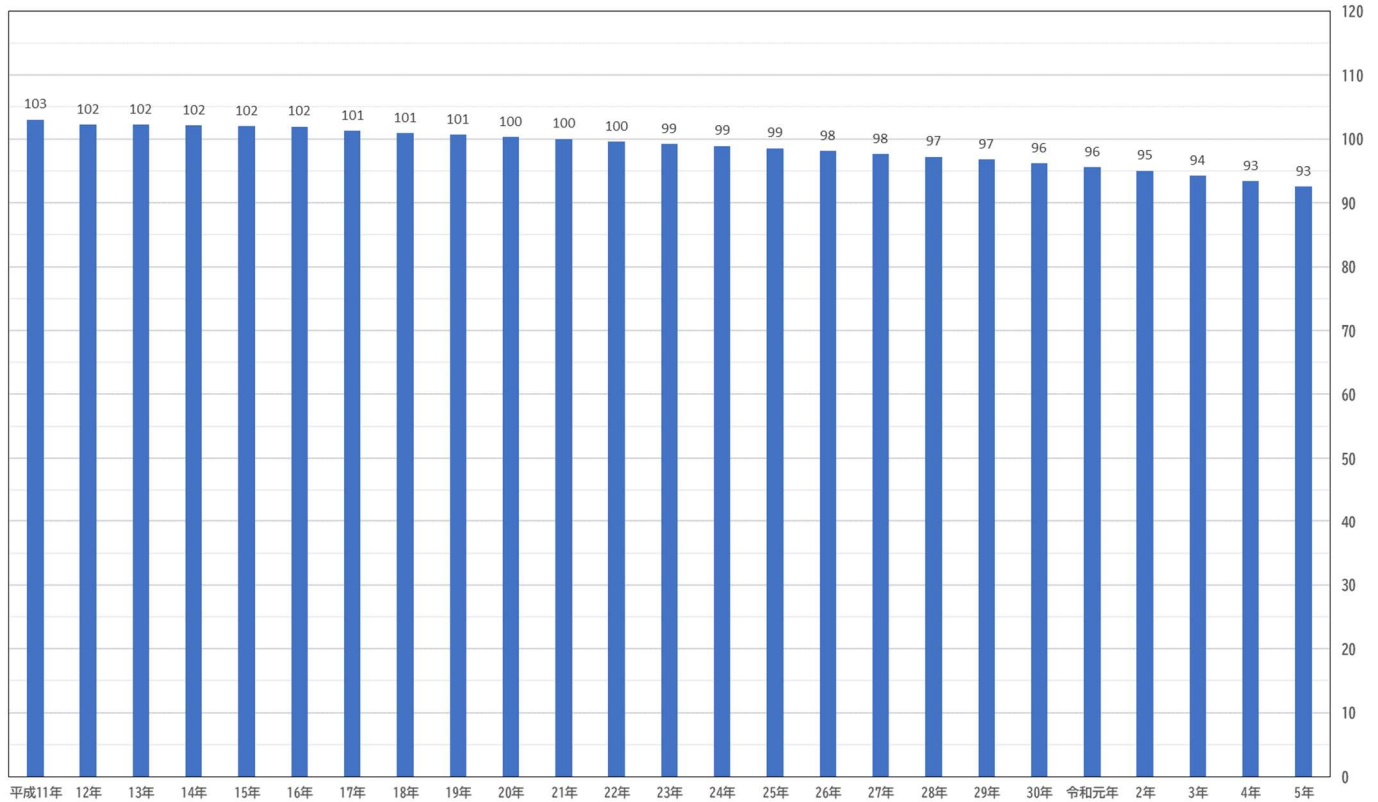
- こうした状況の中、香川県においては、令和3(2021)年度からの新たな香川づくりの指針として、「『人生100年時代のフロンティア県・香川』実現計画（令和3(2021)年度～令和7(2025)年度）」が策定されている。

- 当該計画における重点施策「人口100万人計画」における取組みの一つとして「県内大学等との連携強化」を掲げ、県内大学等との連携強化、県内大学等の拠点性や魅力の向上に取り組んでいる。

【図表 1】

香川県の人口推移（平成11年～令和5年）

(万人)

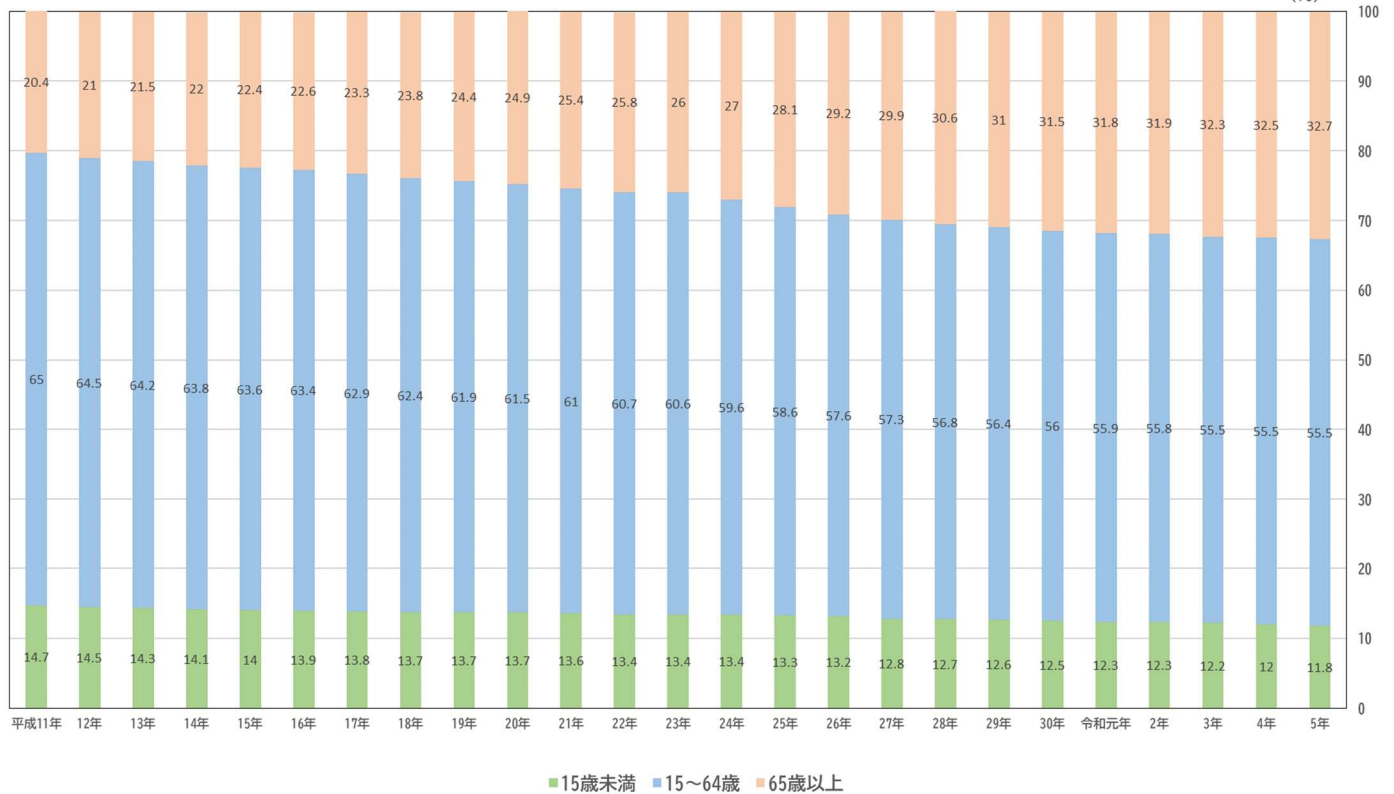


※香川県統計調査課「香川県人口移動調査」より作成

【図表 2】

香川県の年齢別人口構成の推移（平成11年～令和5年）

(%)



※香川県統計調査課「香川県人口移動調査」より作成

【図表 3】

香川県内大学・短大への県内進学者数

入学年月	大 学			短 大		
	県内大学進学者数（人）	大学進学者（人）	割合（％）	県内短大進学者数（人）	短大進学者数（人）	割合（％）
令和5年4月	874	5,031	17.4	263	391	67.3
令和4年4月	850	4,876	17.4	282	385	73.2
令和3年4月	832	4,840	17.2	322	446	72.2
令和2年4月	827	4,929	16.8	322	487	66.1
平成31年4月	861	4,874	17.7	316	466	67.8
平成30年4月	837	4,778	17.5	362	517	70.0
平成29年4月	845	4,733	17.9	345	498	69.3
平成28年4月	785	4,461	17.6	302	476	63.4
平成27年4月	784	4,422	17.7	338	501	67.5
平成26年4月	752	4,513	16.7	333	522	63.8
平成25年4月	782	4,464	17.5	364	547	66.5
平成24年4月	701	4,311	16.3	328	527	62.2

※香川県統計調査課「学校基本統計」より作成

※「大学進学者数」及び「短大進学者数」は、県内高校出身者で大学・短大に進学した者の数

※「県内大学進学者数」及び「県内短大進学者数」は、県内高校出身者で県内大学・短大に進学した者の数

【図表 4】

香川県内大学・短大・高等専門学校の入学生数・入学者数

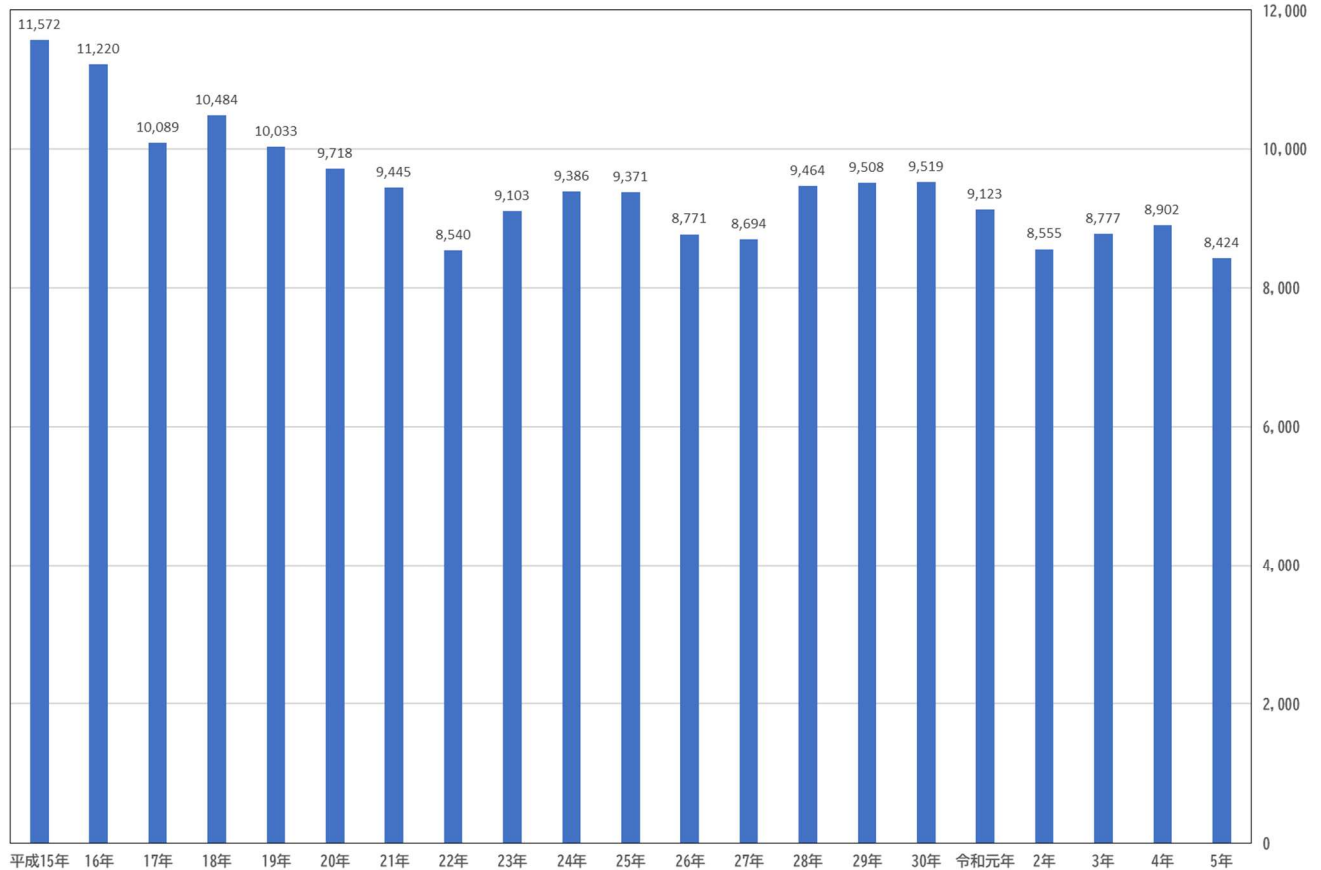
年度	大学			短大			高等専門学校		
	入学定員（人）	入学者数（人）	充足率（％）	入学定員（人）	入学者数（人）	充足率（％）	入学定員（人）	入学者数（人）	充足率（％）
令和5年度	2,189	2,040	93.2	450	302	67.1	280	292	104.3
令和4年度	2,189	2,125	97.1	450	326	72.4	280	295	105.4
令和3年度	2,189	2,092	95.6	480	368	76.7	280	291	103.9
令和2年度	2,189	2,134	97.5	400	358	89.5	280	296	105.7
令和元年度	2,189	2,163	98.8	400	358	89.5	280	293	104.6
平成30年度	2,279	2,122	93.1	400	402	100.5	280	293	104.6
平成29年度	2,279	2,122	93.1	440	382	86.8	280	295	105.4
平成28年度	2,319	2,077	89.6	440	331	75.2	280	292	104.3
平成27年度	2,319	2,098	90.5	440	373	84.8	280	289	103.2
平成26年度	2,319	2,090	90.1	460	374	81.3	280	296	105.7

※香川県集計

【図表 5】

香川県の18歳人口の推移（平成15年～令和5年）

(人)



※香川県統計調査課「香川県人口移動調査」より作成

【図表 6】

(参考) 2040年の各都道府県進学者数等推計(2021年基準)④

	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	その他
18歳人口【2021】	9,310	12,483	6,184	46,524	8,412	12,691	16,741	10,244	10,517	15,625	16,363	
高校等卒業生数【2021】	8,593	11,445	5,891	41,516	7,697	11,857	15,073	9,745	9,842	14,227	14,424	
大学進学者数【2021】	4,840	6,144	2,845	22,333	3,455	5,434	7,075	4,091	4,180	6,126	7,002	17,919
大学進学率【2021】	52.0%	49.2%	46.0%	48.0%	41.1%	42.8%	42.3%	39.9%	39.7%	39.2%	42.8%	
大学進学率(国公私別)【2021】	13.5% 3.7% 34.7%	4.8% 4.2% 30.2%	9.9% 6.2% 29.8%	9.3% 3.0% 35.7%	12.3% 2.1% 26.7%	14.2% 5.3% 23.3%	10.1% 3.4% 28.8%	13.5% 4.2% 22.3%	12.8% 4.2% 22.8%	12.0% 2.4% 24.8%	9.6% 3.4% 29.8%	
短大進学率【2021】	4.8%	4.5%	4.3%	4.4%	4.2%	3.8%	3.2%	7.1%	4.7%	7.2%	3.6%	
専門学校進学率(弱役)【2021】	15.8%	17.1%	16.1%	16.1%	16.5%	15.5%	18.1%	20.1%	16.1%	19.6%	24.0%	
大学数【2021】	4	5	5	35	2	8	9	5	7	6	8	
大学数(国公私別)【2021】	1 1 2	1 1 3	1 2 2	3 4 28	1 0 1	1 1 6	1 1 7	1 1 3	1 2 4	2 0 4	1 3 4	
入学定員【2021】	2,189	3,960	2,215	25,761	1,818	3,986	5,712	3,520	2,335	3,683	3,972	
入学定員(国公私別)【2021】	1,239 90 860	1,770 81 1,890	1,075 800 280	4,110 1,999 19,652	1,278 0 540	1,641 730 1,615	1,867 480 3,565	1,070 80 2,370	1,035 300 1,000	2,053 0 1,630	1,547 840 1,785	
大学入学者数【2021】	2,092	3,875	2,212	25,963	1,817	3,914	5,643	3,029	2,174	3,652	4,153	
(国公私別)【2021】	1,278 90 727	1,818 100 1,957	1,110 806 196	4,214 2,097 19,652	1,315 0 502	1,657 752 1,505	1,706 505 3,432	1,066 81 1,862	1,064 312 796	2,100 0 1,552	1,587 864 1,822	
県外から流入【2021】	1,260	1,840	1,459	11,422	1,244	1,942	2,357	1,947	1,096	1,601	937	
県内から流出【2021】	4,008	4,109	2,092	7,792	2,882	3,462	3,789	3,009	3,102	4,075	3,786	
流出入差(流入-流出)【2021】	-2,748	-2,269	-633	3,630	-1,638	-1,520	-1,432	-1,062	-2,006	-2,474	-2,849	
自県進学率【2021】	17.2%	33.1%	26.5%	65.1%	16.8%	36.3%	46.4%	26.4%	25.8%	33.5%	45.9%	
18歳人口推計【2040】	6,054	7,871	3,924	38,596	6,114	8,734	12,888	7,335	7,589	11,545	14,641	
大学進学者数推計【2040】	3,517	4,389	2,021	18,989	2,670	4,347	5,566	3,172	3,129	4,808	6,952	19,329
大学進学率推計【2040】	58.1%	55.8%	51.5%	49.2%	43.7%	49.8%	43.2%	43.2%	41.2%	41.6%	47.5%	
大学入学者数推計【2040】	1,702	3,152	1,800	21,121	1,478	3,184	4,591	2,464	1,769	2,971	3,379	
(国公私別)【2040】	1,037 73 591	1,478 81 1,892	903 737 199	3,428 1,706 15,987	1,070 0 408	1,348 612 1,224	1,388 411 2,792	863 66 1,515	866 254 649	1,708 0 1,263	1,275 540 1,564	
入学定員充足率推計【2040】	77.7%	81.7%	81.2%	82.0%	81.3%	79.9%	80.4%	70.0%	75.7%	80.7%	85.1%	
(国公私別)【2040】	83.7% 81.4% 68.8%	83.6% 81.4% 80.0%	84.0% 85.7% 56.9%	83.4% 85.3% 81.4%	83.7% - 75.6%	82.1% 83.8% 75.8%	83.3% 85.6% 78.3%	82.6% 82.4% 63.9%	83.6% 84.6% 64.9%	83.2% - 77.5%	82.4% 84.4% 87.6%	

※文部科学省「2040年の各都道府県進学者数等推計(2021年基準)」

【図表 7】

県内大学卒業生の就職先

卒業年月	就職者数※ ¹ (人)	県内就職者数※ ² (人)	県内就職率※ ³ (%)	県内出身者 就職者数※ ⁴ (人)	県内出身者 県内就職者数※ ⁵ (人)	県内出身者 県内就職率※ ⁶ (%)
令和5年3月	1,617	628	42.2	673	528	78.5
令和4年3月	1,514	667	44.1	610	476	78.0
令和3年3月	1,573	681	43.3	659	530	80.4
令和2年3月	1,648	668	40.5	627	485	77.4
平成31年3月	1,598	649	40.6	619	475	76.7
平成30年3月	1,548	655	42.3	584	473	81.0
平成29年3月	1,558	705	45.3	606	499	82.3
平成28年3月	1,511	646	42.8	557	442	82.3
平成27年3月	1,511	664	43.9	592	467	78.9
平成26年3月	1,443	664	46.0	579	486	83.9

県内短大卒業生の就職先

卒業年月	就職者数※ ¹ (人)	県内就職者数※ ² (人)	県内就職率※ ³ (%)	県内出身者 就職者数※ ⁴ (人)	県内出身者 県内就職者数※ ⁵ (人)	県内出身者 県内就職率※ ⁶ (%)
令和5年3月	285	251	88.1	261	246	94.3
令和4年3月	301	272	90.4	276	263	95.3
令和3年3月	319	278	87.1	289	268	92.7
令和2年3月	327	292	89.3	308	288	93.5
平成31年3月	340	309	90.9	306	296	96.7
平成30年3月	300	271	90.3	275	263	95.6
平成29年3月	320	294	91.9	293	280	95.6
平成28年3月	325	296	91.1	295	283	95.9
平成27年3月	335	318	94.9	314	308	98.1
平成26年3月	298	266	89.3	267	254	95.1

県内高専卒業生の就職先

卒業年月	就職者数※ ¹ (人)	県内就職者数※ ² (人)	県内就職率※ ³ (%)	県内出身者 就職者数※ ⁴ (人)	県内出身者 県内就職者数※ ⁵ (人)	県内出身者 県内就職率※ ⁶ (%)
令和5年3月	144	67	46.5	127	64	50.4
令和4年3月	144	59	41.0	129	55	42.6
令和3年3月	140	57	40.7	127	55	43.3
令和2年3月	169	54	32.0	154	53	34.4
平成31年3月	147	50	34.0	130	49	37.7
平成30年3月	146	59	40.4	138	58	42.0
平成29年3月	143	44	30.8	123	42	34.1
平成28年3月	137	46	33.6	120	44	36.7
平成27年3月	126	42	33.3	111	40	36.0
平成26年3月	152	57	37.5	140	55	39.3

※香川県集計

※1 県内大学・短大・高専を卒業して就職した人数

※2 県内大学・短大・高専を卒業生して県内企業に就職した人数

※3 県内就職者数÷就職者

※4 県内出身者で県内大学・短大・高専を卒業して就職した人数

※5 県内出身者で県内大学・短大・高専を卒業して県内企業に就職した人数

※6 県内出身者県内就職数÷県内出身者就職数

県内大学・短大・高専卒業生の就職先

卒業年月	就職者数 (人)	県内就職者数 (人)	県内就職率 (%)	県内出身者 就職者数 (人)	県内出身者 県内就職者数 (人)	県内出身者 県内就職率 (%)
令和5年3月	2,046	946	46.2	1,061	838	79.0
令和4年3月	1,959	998	50.9	1,015	794	78.2
令和3年3月	2,032	1,016	50.0	1,075	853	79.3
令和2年3月	2,144	1,014	47.3	1,089	826	76.8
平成31年3月	2,085	1,008	48.3	1,055	820	77.7
平成30年3月	1,994	985	49.4	997	794	79.6
平成29年3月	2,021	1,043	51.6	1,022	821	80.3
平成28年3月	1,973	988	50.1	972	769	79.1
平成27年3月	1,972	1,024	51.9	1,017	815	80.1
平成26年3月	1,893	987	52.1	986	795	80.6

(5) ビジョン・基本目標及び数値目標

魅力ある瀬戸内香川の生活圏域づくりのため、地域社会の発展に寄与することを目的として、大学等を基点とするプラットフォームにより産・学・官のネットワーク強化を図り、地域社会・地域経済を支える人材の育成・定着及びその人材が活躍する場を形成する

「(1)現状と課題」で述べた課題に対応するため、次の基本目標を設定する。

I 大学等間の連携や大学等と県内高校等との連携の強化を図ることにより、教育力向上及び研究を促進するとともに、県内高校生等に対して大学等の魅力を発信し、自県大学進学者の割合を増加させるとともに、県内大学等の入学者を維持する。

【取り組み】：①高大連携・進学推進事業
②大学等連携強化事業

II 地域企業がもつ魅力を発信し、県内大学生等の県内就職を促進する。

【取り組み】：①キャリア支援事業
②地域企業魅力発信強化事業

III 産学官の連携を促進する事業等を推進し、地域の活性化を図る。

【取り組み】：①地域活性化実践事業
②共創推進強化事業

総合的な達成度を測る目標指標を次のとおり設定する。

指標名	基準値 (2023年度)	目標値 (2028年度)	目標値設定の考え方
自県大学進学者の割合	17.4%	20.0%	2023年度の自県大学進学者の割合17.4%を基準として、毎年度0.5%伸ばす目標設定とする。
県内大学・短大・高専入学者数	2,634人	2,634人	2023年度県内大学・短大・高専入学者数2,634人維持を目標設定とする。
県内大学・短大・高専卒業生の 県内就職率	46.2%	52.2%	2023年3月に卒業した県内大学・短大・高専生の県内就職率46.2%を基準として、毎年度1%ずつ伸ばす目標設定とする。

(6) 評価体制・評価時期・評価の反映方法

- ・評価体制：運営委員会において、活動指標に対する実績に基づく評価を行う。
- ・評価時期：原則として、事業年度終了の翌年度第2四半期末までに行うものとする。
- ・評価の反映方法：運営委員会における翌年度の事業計画策定時、前年度の評価及び意見を反映させることとする。

(7)ロードマップ

△印:検討 ○印:実施 ◎印:次期計画に向けて検討

①高大連携・進学推進事業（主幹部会：進学・教育部会）

取組目標	No	取組名	課題を解決する取組概要	2023年度 実績	2024	2025	2026	2027	2028	活動指標 2028年度
・大学等の 連携により 教育力向上 及び研究を 促進すると ともに、県 内高校生等 に対して大 学等の魅力 を発信し、 県内進学者 の増加を図 る。	1	出前講座・体 験講座等への 講師派遣	1) 出前講座等 高校生等を対象に大学等の教職員が出前講座 を実施する。出前講座等の講座名や内容を年 度初めに情報公開し、活用について積極的に 働きかける。 2) 香川わくわく子ども大学 大学等の特色を生かした講座開設により、小 学生の学びに向かう力を育成し、課題発見能 力や問題解決能力を高める。 3) 探究型学習支援プロジェクトへの講師派遣 高校の「総合的な探究の時間」に大学等の教 職員を派遣して指導・助言を行う。	1) 75件実施 2) 13講座開設 3) 1校で実施	1) 80件 2) 13講座 3) 1校	1) 85件 2) 13講座 3) 2校	1) 90件 2) 14講座 3) 2校	1) 95件 2) 14講座 3) 3校	1) 100件 2) 15講座 3) 3校	
	2	県内大学等合 同進学説明会 開催	大学等への理解を深めるため、合同の進学説 明会を県内高校に出向き、県内大学から県内 就職した卒業生を加えて実施	4校で開催	5校	10校	10校	10校	10校	10校
	3	教員対象県内 大学等合同進 学説明会開催	高校教員を対象に県内大学等が合同で説明会 を実施	ニーズ調査・ 検討	1回	1回	1回	1回	1回	1回
	4	高大連携キャ リアデザイン 研修	県高等学校PTA連合会との連携による保護者対 象の研修等を実施 1) 大学等合同説明会 2) 機関紙「高P連だより」への大学等記事掲 載	1) 合同説明会 実施 2) 機関誌への 掲載2回	1) 1回 2) 2回	1) 1回 2) 2回	1) 1回 2) 2回	1) 1回 2) 2回	1) 1回 2) 2回	1) 1回 2) 2回
	5	共同の広報活 動	1) オープンキャンパスの共同広告 ホームページで日程表を公開 2) ホームページの活用 プラットフォームの様々な取組を公開 3) パンフレットスタンドの活用 高校に設置のパンフレットスタンドに県内 大学等の資料を配付 4) デジタルキャンパスガイドの活用	1) 1回 2) 随時実施 3) 随時実施 4) Web サイト 「かがわキャン パスガイド」を 作成・公開 5) 1回	1) 1回 2) 20回 3) 随 時実施 4) 1回 5) 3回	1) 1回 2) 20回 3) 随 時実施 4) 1回 5) 3回	1) 1回 2) 30回 3) 随 時実施 4) 1回 5) 3回	1) 1回 2) 40回 3) 随 時実施 4) 1回 5) 3回	1) 1回 2) 50回 3) 随 時実施 4) 1回 5) 3回	1) 3回 2) 50回 3) 随時実施 4) 1回 5) 3回

			大学等の魅力を県内外の高校生に情報発信、県内周知のためのチラシ作成・配布 5) 校長会等での広報 校長会や担当者会に参加し、プラットフォームの取組みを周知、協力依頼							
	6	外国人留学生対象の合同大学進学説明会の開催	外国人留学生対象の合同大学進学説明会の開催	—	1回	1回	1回	1回	1回	1回

②大学等連携強化事業（主幹部会：進学・教育部会）

取組目標	No	取組名	課題を解決する取組概要	2023年度実績	2024	2025	2026	2027	2028	活動指標 2028年度
・大学等の連携により教育力向上及び研究を促進するとともに、県内高校生等に対して大学等の魅力を発信し、県内進学者の増加を図る。	1	大学間の単位互換	・ 多様かつ柔軟な学修を推進するため、大学等の開設科目の相互履修と単位認定を実施 ・ 教科目の開発を検討	登録者数 10人	12	14	16	18	20	登録者数 20人
	2	大学等教職員のFD・SD研修	大学等教職員研修の共同実施	3回実施	2回	2回	2回	3回	3回	3回
	3	地域における高等教育の中長期グランドデザイン検討会	大学等の地域における教育改革や教育改善につなげる中長期グランドデザインを検討	1回実施	1回	1回	1回	1回	1回	1回
	4	数理・データサイエンス・AI教育事業	県内高等教育機関の学生が、数理・データサイエンス・AIを習得できるような教育体制の構築・普及	1回実施	1回	1回	1回	1回	1回	1回
	5	共同IRの実施	県内大学等に関する進学状況の分析、高校生・保護者・高校教員等への意識調査を実施し高大接続対策に活用	1回実施	1回	1回	1回	1回	1回	1回
	6	学生の国際交流	県内大学等の留学生交流会を、参加大学等を拡大・拡充して開催	1回実施	1回	1回	2回	2回	2回	2回
	7	リスクマネジメント活動	災害等に対するリスクマネジメント対応（各部会と連携）	1回実施	1回	1回	1回	1回	1回	1回

③キャリア支援事業（主幹部会：就職・産業振興部会）

※就職・産業振興部会にて検討

取組目標	No	取組名	課題を解決する取組概要	2023年度 実績	20 24	20 25	20 26	20 27	20 28	活動指標 2028年度
・県内大学生等の県内就職を促進する取組を実施するとともに、地域企業がもつ魅力を発信して中長期的な県内就職の促進を図る。	1	かがわーくフェア	県内企業が参加する対面形式等での合同企業説明会を実施	3回 参加学生 人	○	○	○	○	○ ◎	回
	2	業種別オンライン県内企業見学ツアー	香川県内企業による動画等を使った業種別の企業説明会を開催	3回 参加学生86人	○	○	○	○	○ ◎	回
	3	うどん県の自治体で働こう大懇談会	香川県内の自治体等の担当者やOB/OGが一堂に集まる大懇談会を開催	1回 参加学生19人	○	○	○	○	○ ◎	回
	4	外国人材活用セミナー&交流会	外国人採用の経験のない県内中小企業に対し、外国人材の活用や雇用方法に関するセミナーを開催するとともに、外国人留学生と企業が接する機会を作る交流イベントを開催	—	△ ○	○	○	○	○ ◎	回
	5	学生と県内企業との交流会	県内大学生のキャリア支援を目的に、県内大学等出身の著名人による講演及び学生と若手OB・OG社員との座談会の開催	—	△ ○	○	○	○	○ ◎	回

④地域企業魅力発信強化事業（主幹部会：就職・産業振興部会）

※就職・産業振興部会にて検討

取組目標	No	取組名	課題を解決する取組概要	2023年度 実績	20 24	20 25	20 26	20 27	20 28	活動指標 2028年度
・県内大学生等の県内就職を促進する取組を実施するとともに、地域企業がもつ魅力を発信して中長期的な県内就職の促進を図る。	1	学生による企業インタビューシップの実施	学生が企業に出向いて経営者や従業員にインタビューをする「インタビューシップ」の拡充	高校生825人 大学生10人	○	○	○	○	○ ◎	回
	2	高校・大学等のイベント等を活用した地域の魅力発信	高校、大学等のイベントに県内産業に関するブースを出展し、県内企業や団体の魅力発信に加え、ワークショップを通じた企業・事業を紹介する。	1校	○	○	○	○	○ ◎	回
	3	地元中小企業魅力発見ツアー	県内高校生及び大学生を対象とする県内中小企業の見学ツアーを実施	—	△ ○	○	○	○	○ ◎	回

⑤地域活性化実践事業（主幹部会：地域活性化部会）

※地域活性化部会にて検討

取組目標	No	取組名	課題を解決する取組概要	2023年度 実績	20 24	20 25	20 26	20 27	20 28	活動指標 2028年度
産学官の連携を促進する事業等を推進し、地域の活性化を図る。	1	学生等による観光等地域資源の情報発信等	観光等の地域資源を題材に学生らによる体験取材やインバウンド向けを含む情報発信を実施、効果的な発信のための講習会を実施		○	○	○	○	○ ◎	回
	2	産学官関係者の連携強化に向けた交流促進	地域で活躍する産学官関係者や学生らがつながり、相互理解を深め、連携事業創出のための基盤づくりを進める交流会等の開催	1回	○	○	○	○	○ ◎	1回
	3	学生との連携を図る活動情報の集約・発信の仕組みづくり	自治体や企業などが、学生との連携・参画を図って実施する活動・イベント・行事等の情報を広く集約、共有、発信する仕組みづくりに取り組む	—	△ ○	○	○	○	○ ◎	随時

⑥共創推進強化事業（主幹部会：3部会共通）

※3部会合同連絡会にて検討

取組目標	No	取組名	課題を解決する取組概要	2023年度 実績	20 24	20 25	20 26	20 27	20 28	活動指標 2028年度
産学官の連携を促進する事業等を推進し、地域の活性化を図る。	1	地域課題解決に向けた共創事業の推進	地域課題解決のために産学官の連携事業（共同研究等）を実施する（各部会と連携）	1件	1	1	1	1	1	1件

【参考】県内大学等の学術分野マップ

	人文科学系	社会科学系	工学系	農学系	保健系	家政系	教育・芸術系
香川県立 保健医療大学					保健医療学部 看護学科 臨床検査学科		
香川大学		法学部 法学科 経済学部 経済学科	創造工学部 創造工学科	農学部 応用生物科学科	医学部 医学科 看護学科 臨床心理学科		教育学部 学校教育教員養成課程
四国学院大学	文学部 人文学科	社会福祉学部 社会福祉学科 社会学部 カルチュラル・ マネジメント学科					文学部 人文学科 社会学部 カルチュラル・ マネジメント学科
高松大学		経営学部 経営学科					発達科学部 子ども発達学科
徳島文理大学 香川キャンパス ※徳島キャンパス	文学部 文化財学科 日本文学科 英語英米文化学科	総合政策学部※ 総合政策学科 短期大学部※ 商科 言語コミュニケーション学科	理工学部 ナノ物質工学科 機械創造工学科 電子情報工学科 人間生活学部※ メディアデザイン学科 建築デザイン学科		香川薬学部 薬学科 薬学部※ 薬学科 保健福祉学部 診療放射線学科 臨床工学科 口腔保健学科※ 理学療法学科※ 看護学科※ 人間福祉学科※	人間生活学部 食物栄養学科 人間生活学科 短期大学部※ 生活科学科	音楽学部※ 音楽学科 人間生活学部※ 児童学科 心理学科 短期大学部※ 保育科 音楽科
香川短期大学 (2025年度より生活文化学科が食物栄養学科に経営情報科が経営情報・デザイン学科に名称変更)		経営情報・デザイン学科(情報ビジネスコース)				食物栄養学科	子ども学科第Ⅰ部 子ども学科第Ⅲ部 経営情報・デザイン学科(デザインアートコース)
高松短期大学		ビジネスデザイン学科					保育学科
せとうち観光 専門職短期大学		観光振興学科					
香川高等専門学校			本科課程(5年) 機械工学科 電気情報工学科 機械電子工学科 建設環境工学科 通信ネットワーク工学科 電子システム工学科 情報工学科 専攻科課程(2年) 創造工学専攻 電子情報通信工学専攻				

【参考】

『人生100年時代のフロンティア県・香川』実現計画（令和3(2021)年度～令和7(2025)年度）

（抜粋）

重点政策⑦

人口100万人計画

移住・定住の促進や魅力ある地域づくり、関係人口の創出・拡大、県内大学等との連携強化などに取り組み、本県への人の流れをつくり、人口が減少し続ける流れを変え、定住人口の拡大につなげます。

現状と課題

- ◇ 本県の人口は、平成12(2000)年以来、減少が続いており、令和5(2023)年4月1日現在では約92.7万人となっています。令和4(2022)年香川県人口移動調査報告では、転入者数33,645人、転出者数34,075人、430人の転出超過となっており、社会増減は転出超過傾向が続いています。
- ◇ 一方で、本県への移住者数は、令和4(2022)年度に2,499人となっており、働き方や意識の変化により地方移住への関心が高まる中、関心度やニーズに応じた施策の展開、デジタルの活用等により、移住・定住の促進に取り組み、本県への人の流れを創出する必要があります。
- ◇ 離島や過疎地域をはじめ、県下の各地域では、人口減少や高齢化により、地域を支える担い手の不足や地域社会の活力低下が懸念される状況にあります。地域住民主体の地域づくり活動の促進を図るとともに、地域外の人材も含め多様な担い手の確保・活用や、地域外の人材と地域をつなぐ中間支援組織の育成等に取り組む必要があります。
- ◇ 進学や就職の時期における若者の県内定着等の課題解決に向けて、若者が集う地域の県内大学等を基点に、地域の各主体間の連携を強化する必要があります。

【新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえた課題】

- ◇ 大都市圏への過度の集中のリスクが再認識され、地方移住への関心が高まっており、テレワークの活用を推進するなど、働き方や生活様式、ニーズの変化に対応した取組みが求められています。

取組の方向

1 かがわの魅力の情報発信

- ◇ 移住の検討を始める方などに対して、市町や関係機関と連携した大都市圏での移住・交流フェア等の開催や、移住ポータルサイトやSNS、インターネット広告等さまざまな媒体の活用を通して、本県の魅力を情報発信します。

2 仕事や住まいのマッチング

- ◇ 移住希望者のニーズに応じた、移住・交流コーディネーターによる相談対応や関係機関と連携した就職相談、空き家バンクによる住宅の斡旋など、仕事や住まいのマッチングに取り組みます。

3 定住のサポート

- ◇ 移住された方々に安心して暮らし続けてもらえるよう、相談しやすい仕組みを整えるとともに、移住者同士のネットワークづくりが図られるよう、移住者 交流会を開催するなど、定住のサポートを行います。

4 魅力ある地域づくりと関係人口の創出・拡大

- ◇ 地域コミュニティの活性化を図るため、地域住民が主体となって実施する地域づくり活動を支援し、魅力ある地域づくりを進めます。
- ◇ 地域を支える担い手の確保や中間支援組織の育成を図り、将来的な移住・定住につなげるため、関係人口と連携・協働して行う地域づくり活動を支援するほか、地域外の人々が離島等を訪れる仕掛けづくりに取り組むなど、関係人口の創出・拡大を図ります。

5 県内大学等との連携強化

- ◇ 県内大学等を基点とする産学官連携の枠組みを活用して、地域の社会経済を支える人材の育成・定着、人材が活躍する場の形成に向けて行う取組みを支援するなど、県内大学等との連携を強化し、県内大学等の拠点性や魅力の向上を図ります。
- ◇ 職業人材を育成する観点から、県内の専修学校等における地元企業等との連携による実践的な職業教育の質の向上に向けた取組みを支援します。

6 県内就職の促進

- ◇ 県内企業の人材確保拠点である「香川県就職・移住支援センター（ワークサポートかがわ）」におけるきめ細かなマッチング支援を行うとともに、合同就職説明会やセミナー等の開催、オンラインを活用した情報発信・就職支援などに取り組み、若者等の県内就職を促進します。
- ◇ 高校でのキャリア教育における、地域企業等と連携したインターンシップ、県内企業の魅力や県内就職の利点の紹介などを通じ、高校生の主体的な進路選択につなげ、次代の香川を担う人材の育成を推進します。
- ◇ 学生に本県の魅力やUターン・県内就職に関する情報を提供するとともに、「就職支援に関する協定」を締結した県外の大学と連携し、学生の県内就職につなげていきます。
- ◇ 大学等卒業後に県内就職・地元定着した方に奨学金の返還の一部免除等を行う、本県独自の「香川県大学生等奨学金制度」や地元産業界とも連携して実施する「日本学生支援機構第一種奨学金返還支援制度」の実施により、若者の地元定着を促進します。

県民等とともに推進する取組み

[県民]

- ・ 本県の魅力の情報発信

[大学等]

- ・ 県市町、企業等と連携した人材の育成・定着や地域課題の解決

[企業]

- ・ 県のUJIターン施策への理解・協力
- ・ 求める人材像や職場の魅力の積極的な発信
- ・ インターンシップの受入れ

[市町]

- ・ 移住検討者等への本県の魅力の情報発信
- ・ 移住希望者へのサポート
- ・ 地域コミュニティの活性化に資する取組みや地域の特性を生かした、関係人口の創出・拡大

方向性を同じくするSDGsのゴール

本重点政策の取組みのうち、「かがわの魅力の情報発信」、「仕事や住まいのマッチング」、「定住のサポート」及び「県内就職の促進」は、『8 働きがいも経済成長も』の理念と、「魅力ある地域づくりと関係人口の創出・拡大」は、『11 住み続けられるまちづくりを』の理念と、「県内大学等との連携強化」は、『4 質の高い教育をみんなに』及び『11 住み続けられるまちづくりを』の理念とそれぞれ方向性が同じです。また、香川県大学生等奨学金制度等の実施は、『1 貧困をなくそう』及び『10 人や国の不平等をなくそう』の理念と方向性が同じです。



別冊：各論編 第1章 施策体系（施策の総合的展開）の関連施策

- 29 移住の促進
- 30 若者の定住促進
- 31 地域を支える活動の促進
- 32 県内大学等の充実強化
- 33 県内大学等との連携強化

重点政策⑫

あらゆる世代・人材で香川の産業を支える

働き方改革を推進し、誰もが働きやすい職場環境づくりを進めるとともに、あらゆる世代や人材の活躍により、正規雇用の促進や雇用のミスマッチ解消、職業能力の開発などを推進し、本県産業を支える人材の安定的な確保を図ります。

現状と課題

- ◇ 少子高齢化の進行や県外への人口流出などにより、特に15歳から64歳までの生産年齢人口が減少する中、本県の有効求人倍率は、平成23（2011）年8月以降、1倍を超える状況が続いており、人材不足となっている県内企業は多く、あらゆる世代や人材の就労を促進し、本県の産業を支える人材の安定的な確保が求められています。
- ◇ 本県における年間総労働時間は概ね減少傾向にあるものの、全国平均に比べ長いことなどから、長時間労働の是正やテレワークの促進など働き方改革を推進することで、誰もが働きやすい職場環境づくりを進め、労働者がそれぞれの事情に応じた多様な働き方を選択できる社会を実現するとともに、企業の労働生産性や魅力度の向上を支援する必要があります。

- ◇ 多くの業種や職種で人材が不足している一方、県内の事務的職業の有効求人倍率（令和4（2022）年）は、0.63倍と1倍を下回っており、求人と求職のミスマッチが生じています。
- ◇ 本県では、大学進学者の8割以上が県外へ進学しており、将来、地域経済を支える若者の県内への就職を促進するためには、県内外の学生等に県内企業の情報を発信し、若者の理解を深める必要があります。
- ◇ 若者の離職率（平成31（2019）年3月新規学卒就職者の3年目離職率は、中卒61.1%、高卒32.3%、大卒31.6%となっており、若者の職場定着率向上のためには、若者や経営者等の意識改革を行う必要があります。
- ◇ 令和4（2022）年10月末現在の県内の外国人労働者数は10,274人と、本県経済の持続的発展に必要不可欠な人材となっており、県内事業所における外国人材の受入れの支援を進めていく必要があります。
- ◇ 令和4（2022）年6月末現在の県内在留外国人数は14,234人と、本県人口の約1.5%を占めており、日本人住民と外国人住民の双方が尊重し合える多文化共生社会の実現に向けた取組みを進めていく必要があります。
- ◇ 地域・産業のニーズと社会経済システムの変化を踏まえた職業能力の開発を行う必要があり、高等技術学校の施設内訓練や民間教育訓練機関等を活用した委託訓練により、人材不足分野の職業訓練の充実・強化を図るとともに、新たに求められる分野の人材育成にも取り組む必要があります。

【新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえた課題】

- ◇ 新型コロナウイルス感染症拡大を契機にテレワークなどの多様で柔軟な働き方の導入が進んだことから、そのような働き方を定着させるとともに、より一層進めていく必要があります。

取組みの方向

1 働き方改革の推進

- ◇ 働き方改革の必要性や重要性を啓発するとともに、それぞれの状況に応じて、テレワークなどの多様で柔軟な働き方を推進する企業等の取組みを支援することなどにより、ワーク・ライフ・バランスの実現に取り組めます。
- ◇ 雇用分野における労働関係法令等の普及啓発や、企業経営者や管理職、労働者の意識改革の促進などにより、働く意欲のあるすべての人が働きやすい職場環境づくりを推進します。

2 県内企業の人材確保

- ◇ 県内企業の持続的発展につなげるため、若者の雇用対策の充実や女性、高齢者、障害者等の就労支援、外国人材の受入れ支援・共生推進などに取り組むことにより、あらゆる世代・人材の安定的な確保を図ります。
- ◇ 「香川県就職・移住支援センター（ワークサポートかがわ）」を県内企業の人材確保拠点と位置づけ、就職支援サイト「ワクサポかがわ」の運営や人材採用コーディネーターによるマッチング支援を通じて、関係機関と連携して学生や求職者の正規雇用での県内就職に向けた取組みを行うことにより、県内企業の人材確保を図ります。
- ◇ 人材不足が深刻化している分野については、多様な人材の活用を促進するとともに、人材確保が必要となる分野については、県内企業と求職者のニーズを踏まえ雇用のミスマッチを解消するなど、県内企業における人材確保に取り組めます。

3 若者の雇用対策の充実

- ◇ 就職活動前のキャリア教育などにより、学生に県内就職を考えるきっかけを提供するほか、「香川県就職・移住支援センター（ワークサポートかがわ）」における

きめ細かなマッチング支援やオンラインを活用した情報発信や就職支援を行うとともに、合同就職説明会の開催などに取り組み、若者の正規雇用での県内就職を促進します。

- ◇ 雇用情勢を踏まえた雇用対策を進めるとともに、早い時期での離職を防ぐため、若手社員、経営者等に対する働きかけなどを実施し、若者の職場定着を図ります。
- ◇ 就職氷河期世代を含む若年無業者等に対しては、地域若者サポートステーション等の関係機関と連携し、個々の状況に応じた就労支援を行います。

4 外国人材の受入れ支援・共生推進

- ◇ 「外国人労働人材関係相談窓口」と「かがわ外国人相談支援センター」が連携し、総合的な相談支援を行います。
- ◇ 県内事業所に対し、外国人材の受入れに関する情報提供や県内定着に向けた取組を行うなど、受入れ・活躍を促進するための支援を行います。
- ◇ コミュニケーションや生活支援、防災面における支援などにより、外国人住民にとって暮らしやすい地域づくりを推進します。

5 職業能力の開発

- ◇ 職業に必要な知識や技能の習得をめざす求職者等に対し、県内企業のニーズや社会経済システムの変化を踏まえた実践的な職業訓練の機会を提供するとともに、県立高等技術学校のあり方についても検討し、職業能力開発の充実・強化を図ります。
- ◇ 技能検定の普及促進や技能の振興などに取り組み、優れた技能の社会的評価や価値の向上を図り、ものづくり技能に対する若者の意識と県民の理解を深め、次世代技能者の育成と技能の承継を促進します。

県民等とともに推進する取組み

[県民]

- ・ 業種や職種を超えた幅広い職業選択への理解
- ・ ワーク・ライフ・バランスの実現
- ・ 職業に必要な知識や技能の習得
- ・ 多文化共生の意識啓発・醸成

[企業]

- ・ 若者を含めた多様な人材の雇用と職場定着への取組み
- ・ 外国人材の受入環境の整備
- ・ テレワークなどの多様で柔軟な働き方をはじめ誰もが働きやすい職場環境づくり
- ・ 従業員の職業能力の向上

[大学・高専などの高等教育機関]

- ・ 学生に対するきめ細かな就職支援策の推進

方向性を同じくするSDGsのゴール

本重点政策の取組みのうち、「働き方改革の推進」は、『3 すべての人に健康と福祉を』、『5 ジェンダー平等を実現しよう』、『8 働きがいも経済成長も』及び『10 人や国の不平等をなくそう』の理念と、「県内企業の人材確保」及び「若者雇用対策の充実」は、『8 働きがいも経済成長も』の理念と、「外国人材の受入れ支援・共生推進」は、『8 働きがいも経済成長も』、『10 人や国の不平等をなくそう』及び『11 住み続けられるまちづくりを』の理念と、「職業能力の開発」は、『4 質の高い教育をみんなに』の理念とそれぞれ方向性が同じです。



別冊：各論編 第1章 施策体系（施策の総合的展開）の関連施策

- 44 産業の成長を支える人材の育成
- 59 安定した雇用の創出と就労支援
- 60 働き方改革の推進
- 61 外国人材の受入れ支援
- 62 外国人との共生推進
- 73 国際化の推進

※要検討 行政評価の記載等の必要がなければこれ以降、P15（ii）満足度の表まで削除
「安全と安心を築く」、「新しい流れをつくる」、「誰もが輝く」の9つの指標の達成状況（令和3（2021）年度実績評価）

「安全と安心を築く」の指標

「誰もが輝く」の指標

■県内大学卒業生の県内就職率

基準値（R2 年度）	実績値（R3 年度）	目標値（R7 年度）	評価
43.3%	44.5%	52%	B

② 指標からみた施策（分野別）の進捗状況

「『みんなでつくるせとうち田園都市・香川』実現計画」において目標値を設定した指標（136 の目標値）について、達成状況を次の区分で分類の上、点数化し、施策（26 分野）ごとにとりまとめました。

指標の進捗度が高い施策（分野別）は、「防災・減災社会の構築」、「地域福祉の推進」、「農林水産業の振興」、「県産品の振興」、「環境の保全」などでした。

一方、「安心して暮らせる水循環社会の確立」、「青少年の育成と県民の社会参画の推進」、「みどり豊かな暮らしの創造」などは指標の進捗度が低くなっています。

〔施策（分野）別の進捗度〕

施策（分野）	達成状況						平均 進捗度
	A 評価	B 評価	C 評価	D 評価	－	計	
誰もが輝く香川							
(21) 魅力ある大学づくり		1	2	1		4	2.0

(注) 1 「達成状況」の各欄の数字は指標数

2 「平均進捗度」は、目標値の達成状況の評価を A：4点、B：3点、C：2点、D：1点として換算し、その合計を指標数で除して算出したもの（4点満点）

3 再掲指標（7）があるため、合計は136にならない。

※136の指標の評価結果（再掲なしの全体集計）

A 評価46、B 評価29、C 評価12、D 評価29、—（評価不能）20

【指標一覧】

指標 番号	指標	単位	基準値 (R2年度)	実績値 (R3年度)	目標値 (R7年度)	評価	備考	施策 番号	再掲 施策	担当部局
2 新しい流れをつくる香川										
(9) 定住人口の拡大										
41	県人口	人	951,049 (R2年)	942,035 (R3年)	925千 (R7年)	D		29		政策部
42	人口の社会増減	人	▲1,381 (R2年) 国内社会増減 ▲1,706 国外社会増減 ▲147 県内移動・ 不明分472	▲2,969 (R3年)	1,000 (R7年)	D		29		政策部
43	県外からの移住者数〔累計〕	人	8,951 (H28～R2 年度)	2,780	12,400	A		29		政策部
44	若者（15歳～39歳）の社会増減	人	▲1,810 (R2年)	▲2,460 (R3年)	251 (R7年)	D		30		政策部
45	県内大学卒業生の県内就職率	%	43.3	44.5	52.0	B		30	68	政策部
(21) 魅力ある大学づくり										
105	自県大学進学者の割合	%	16.8	17.2	21.0	C		67		政策部
106	県内大学等における関係機関との 連携協定締結数	件	313	323	423	C		67		政策部
45	県内大学卒業生の県内就職率	%	43.3	44.5	52.0	B		68	30	政策部
107	県内大学等におけるリカレント講 座の受講者数	人	1,185 (H28～R2 年度の平均)	874	1,200	D		68		政策部

(ii) 満足度

満足度が低い施策（分野）は、「デジタル化の推進」、「農林水産業の振興」、「雇用対策の推進」などでした。

満足度

(高い順)

順位	施策（分野）	満足度 平均
1	安心して暮らせる水循環社会の確立	3.5
2	文化芸術による地域の活性化	3.3
3	教育の充実	3.3
4	県産品の振興	3.3
5	安心できる医療・介護の充実確保	3.2
6	健康長寿の推進	3.2
7	みどり豊かな暮らしの創造	3.2
8	安全で安心できる暮らしの形成	3.2
9	交流人口の回復・拡大	3.2
10	スポーツの振興	3.2
11	人権尊重社会の実現	3.2
12	青少年の育成と県民の社会参画の推進	3.2
13	男女共同参画社会の実現	3.1
14	環境の保全	3.1

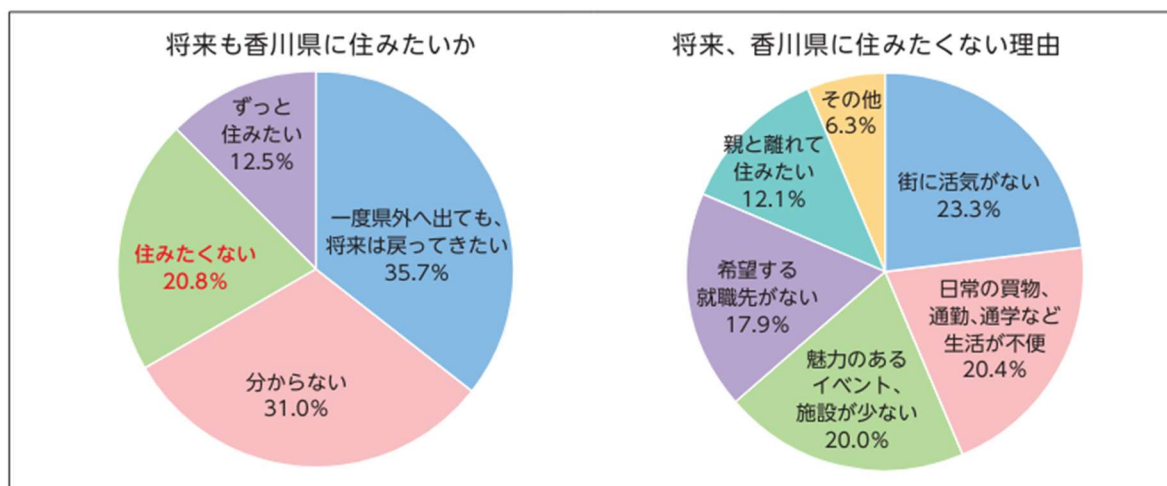
15	地域福祉の推進	3.1
16	魅力ある大学づくり	3.1
17	活力ある地域づくり	3.1
18	防災・減災社会の構築	3.1
19	子育て支援社会の実現	3.0
20	商工・サービス業の振興	3.0
21	外国人材の受入れ支援・共生推進	3.0
22	定住人口の拡大	3.0
23	交通ネットワークの整備	3.0
24	雇用対策の推進	3.0
25	農林水産業の振興	3.0
26	デジタル化の推進	3.0

2 県民意識とニーズの把握

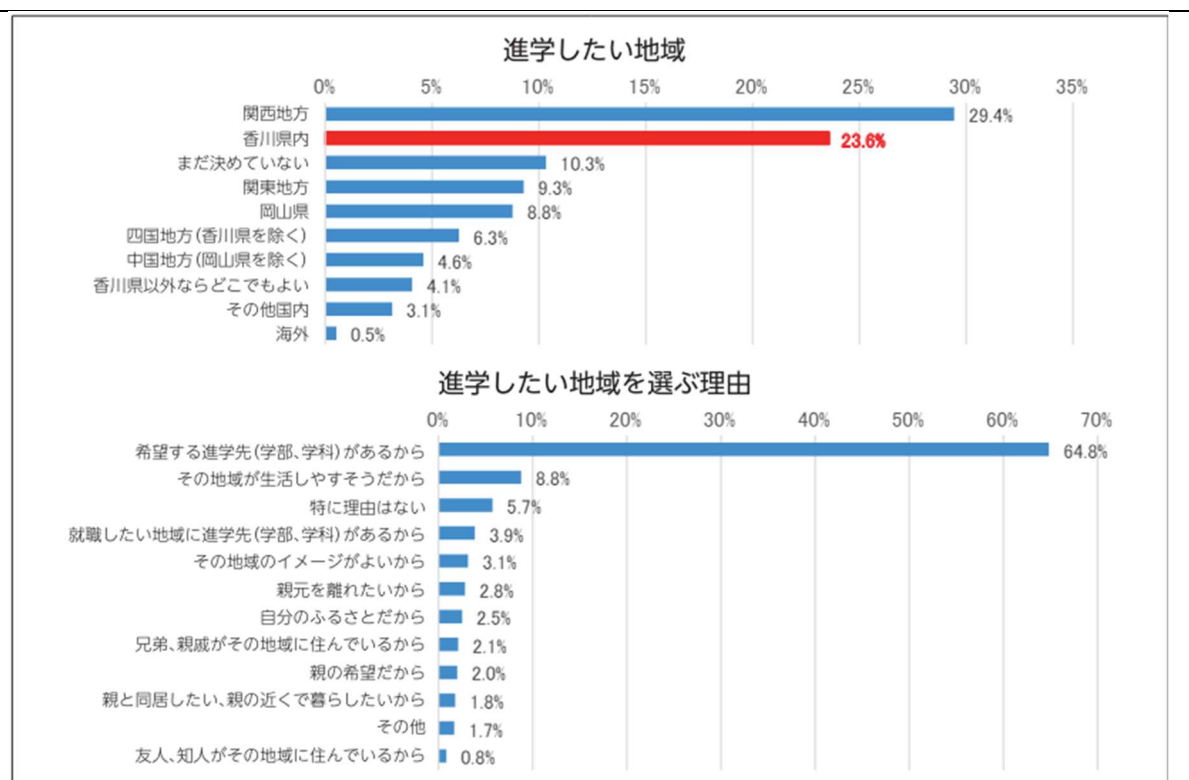
② 高校生の香川県に対する意識調査（令和5（2023）年3月実施）の現状

10年後になってほしい香川県の姿について、「子どもや若者が増えて活気にあふれている」が最も多く、次いで「大規模災害への万全な備え」、「交通事故や犯罪のない安全・安心な県」という回答が多くなっています。

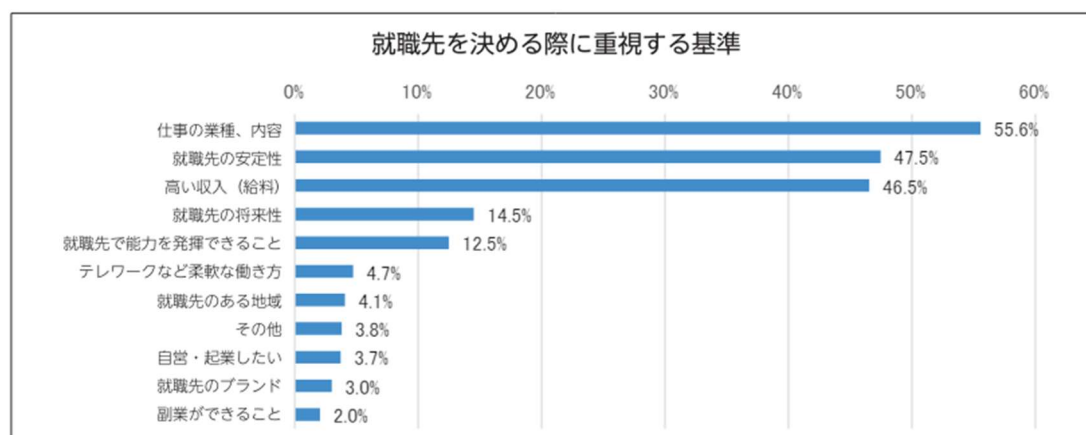
定住の意識について、「ずっと住みたい」もしくは「一度外へ出て、将来は戻って来たい」という回答が48.2%であるのに対し、「住みたくない」という回答は20.8%でした。将来、香川県に住みたくない理由としては、「街に活気がない」が最も多く、次いで「日常の生活が不便」、「魅力のあるイベント、施設が少ない」、「希望する就職先がない」という回答がありました。



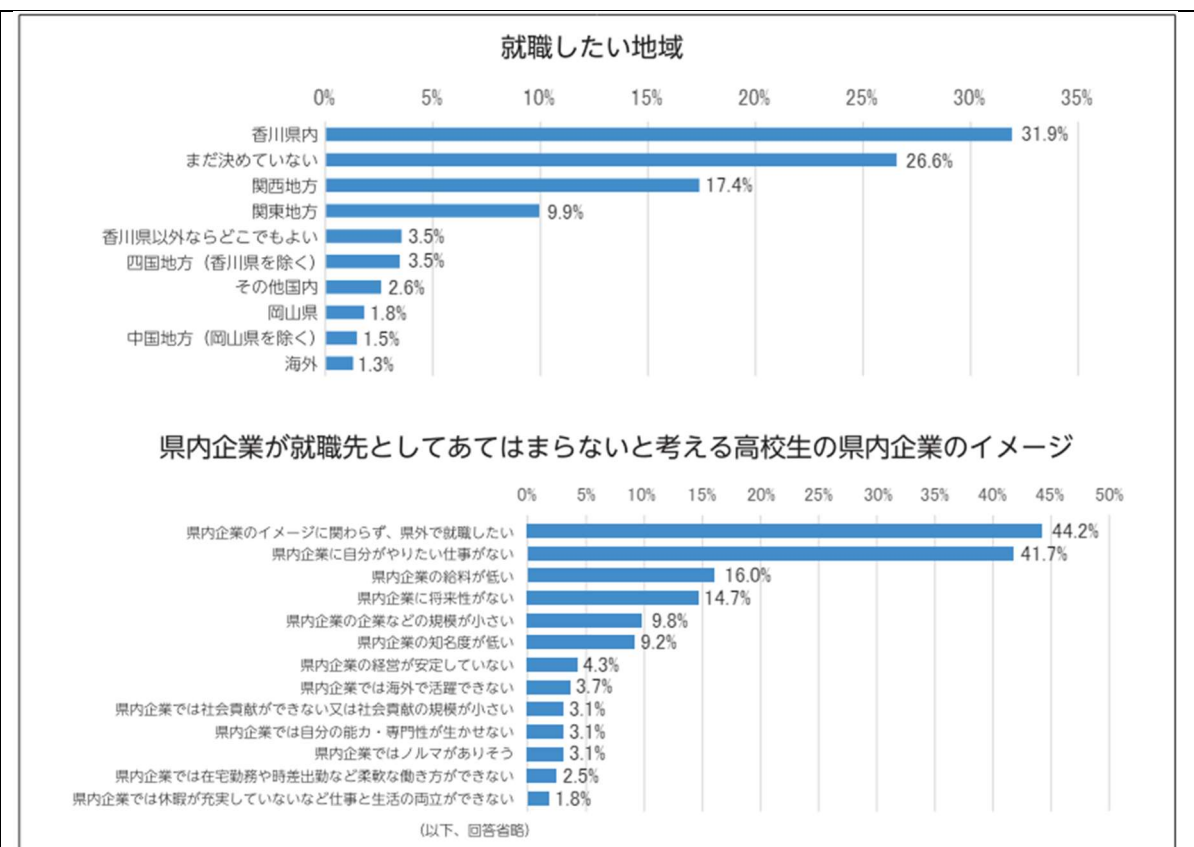
卒業後、進学を希望する高校生の進学したい地域について、「香川県内」という回答は23.6%でした。また、進学したい地域を選ぶ理由は「希望する進学先（学部・学科）があるから」が最も多く、その他「当該地域の生活の利便性」、「就職したい地域」、「地域のイメージの良さ」といった回答がありました。



就職先を決める際に重視する基準について、「仕事の業種、内容」が最も多く、次いで「就職先の安定性」、「高い収入（給料）」という回答が多くなっています。



就職したい地域について、「香川県内」と回答した高校生は 31.9%でした。県内企業が就職先としてあてはまらないと考える高校生の県内企業のイメージについて、「県内企業のイメージに関わらず、県外で就職したい」が最も多く、次いで「県内企業に自分がやりたい仕事がない」という回答が多くなっています。

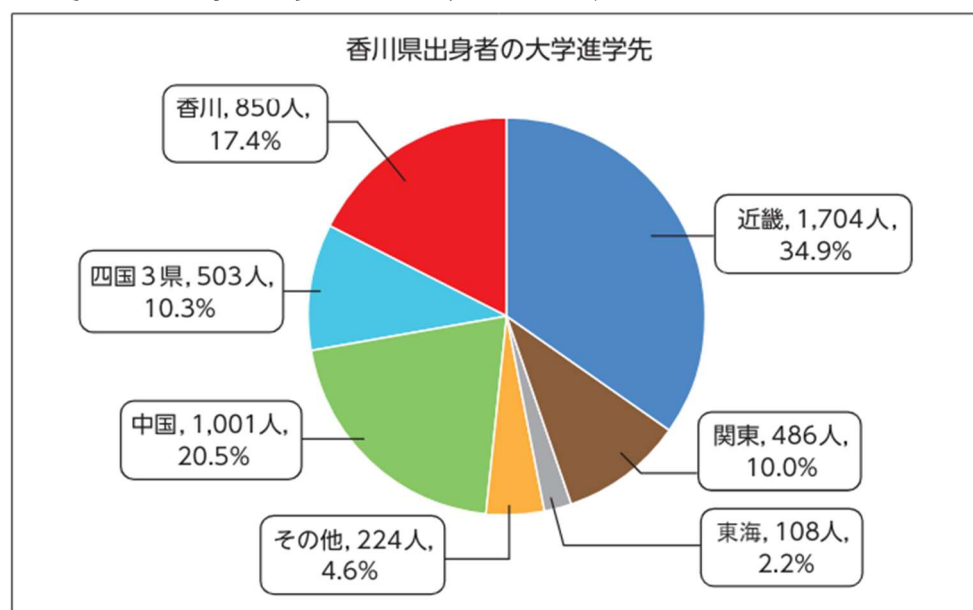


3 社会経済情勢の変化

②社会経済情勢の変化

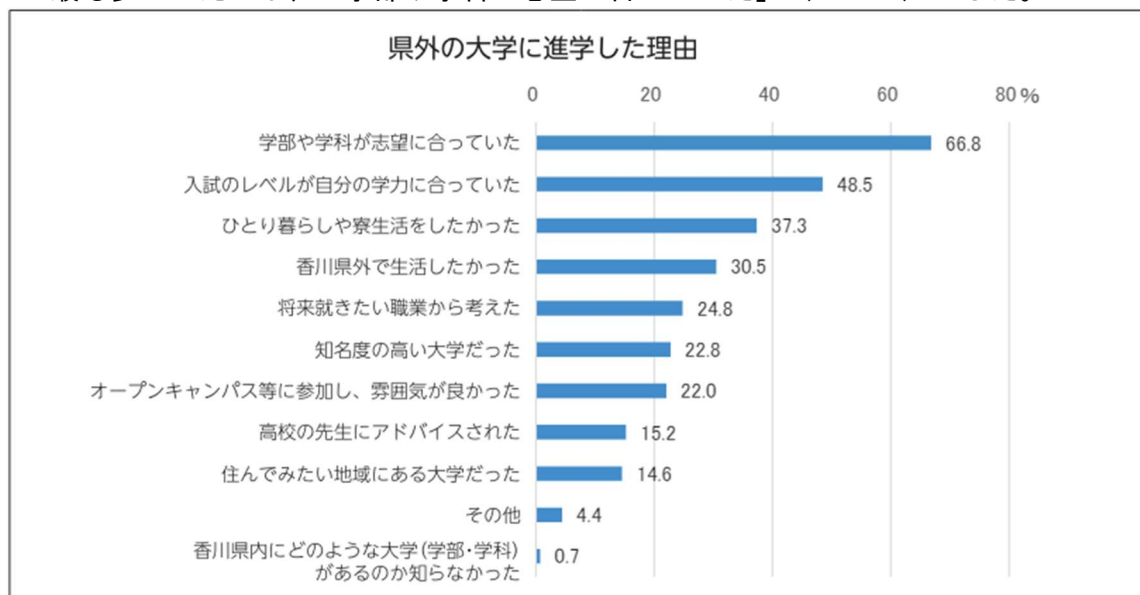
（1）人口

令和4（2022）年度の本県の大学進学者 4,876 人のうち、4,026 人（82.6%）が県外に進学しています。県外のうち、近畿地方が 34.9%と最も多く、関東・東海・近畿の三大都市圏で約半数を占めています。一方で、20.5%が中国地方、10.3%が四国3県という比較的至近距離にある大学に進学しており、潜在的にUターン志向があるのではないかと考えられる学生が多いこともうかがえます



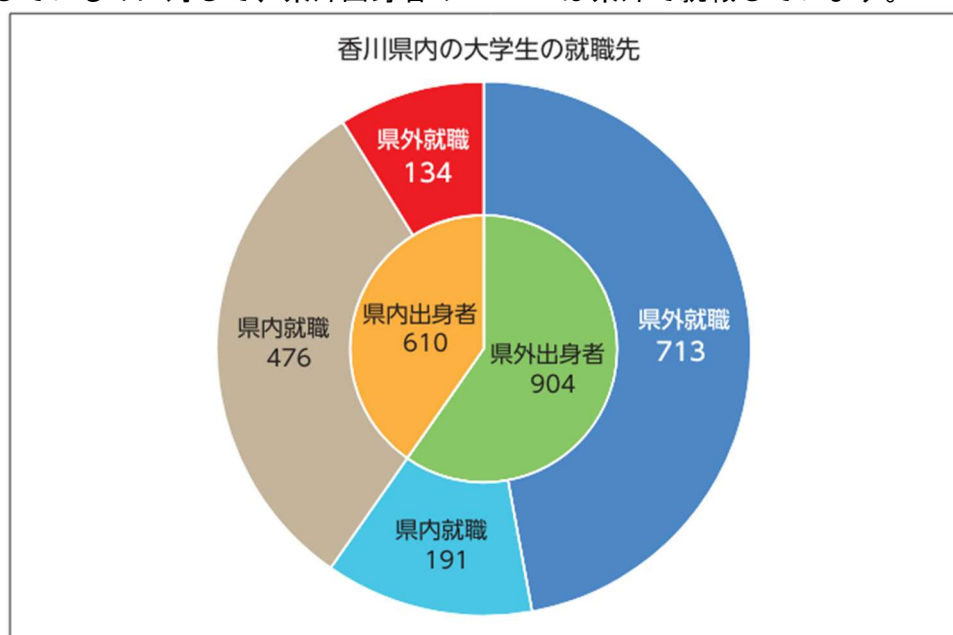
資料：文部科学省「令和4年度学校基本調査」

県外大学等への進学者を対象としたアンケートによれば、県外の大学に進学した理由で最も多かったのは、「学部や学科が志望に合っていた」（66.8%）でした。



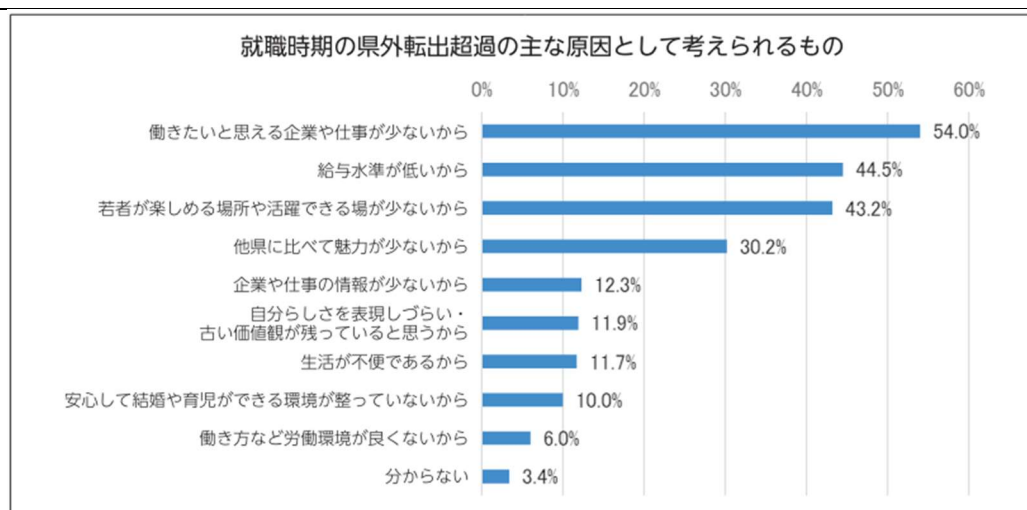
資料：香川県「県出身県外大学生等アンケート調査」（令和2年度）

令和4（2022）年3月に卒業した県内大学生のうち、県内出身者は78.0%が県内で就職しているのに対して、県外出身者の78.9%は県外で就職しています。



資料：令和4年 香川県調査

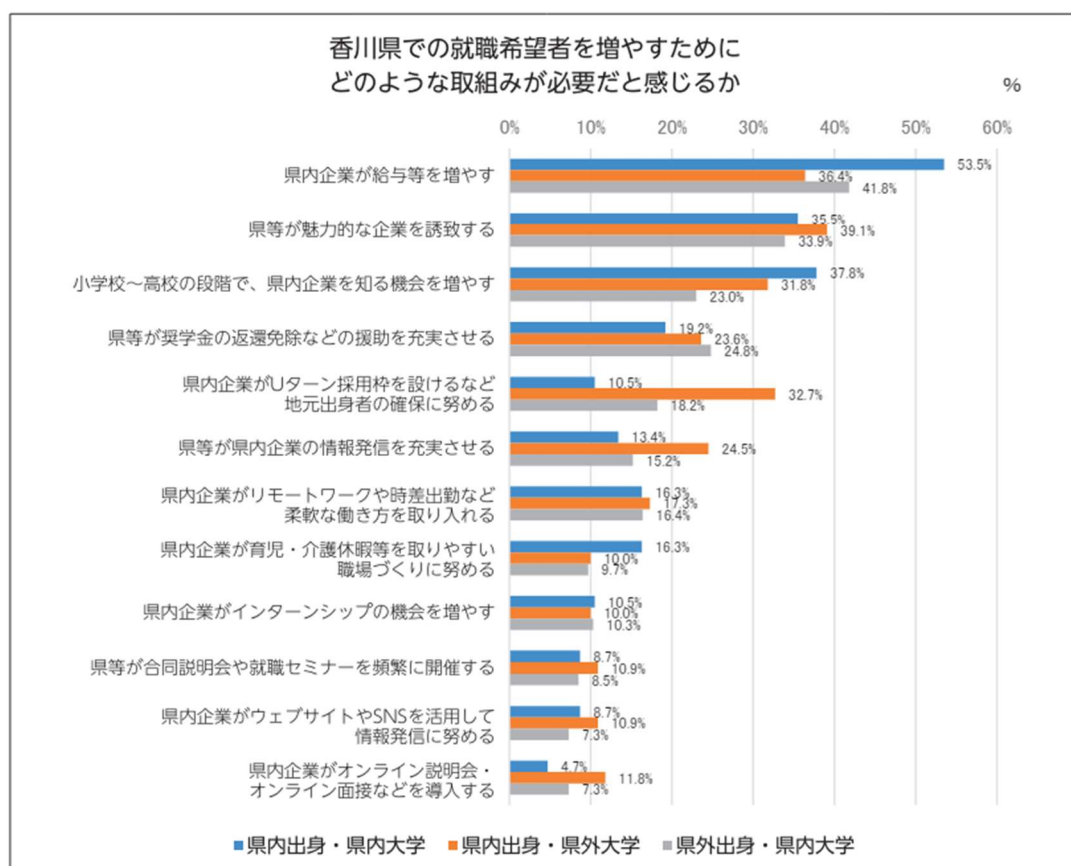
令和4（2022）年度に就職活動を行った県内の大学等（大学・短大・大学院・高専）の学生及び県外大学等へ進学した本県出身の学生を対象としたアンケートによれば、本県における就職時期の県外転出超過の主な原因として考えられるものについて、最も多かったのは、「働きたいと思える企業や仕事が少ない」（54.0%）、次いで、「給与水準が低い」（44.5%）、「若者が楽しめる場所や活躍できる場が少ない」（43.2%）となっています。



資料：大学・地域共創プラットフォーム香川
「就職活動の状況等に関するアンケート調査」(令和4年度)

香川県での就職希望者を増やすためにどのような取り組みが必要だと感じるかについて、「県内企業が給与等を増やす」が最も多く、次いで「県等が魅力的な企業を誘致する」、「小学校～高校の段階で、県内企業を知る機会を増やす」となっています。

特に、県内出身の学生は、県外出身の県内大学に在籍する学生に比べて、小学校～高校の段階で、県内企業を知る機会を増やすべきと考えている割合が高くなっています。



資料：大学・地域共創プラットフォーム香川
「就職活動の状況等に関するアンケート調査」(令和4年度)

5 課題整理

※要検討 「5 現状と課題」と内容がほぼ重複につき削除

①人口減少問題の克服、地域活力の向上

※要件等 「5 現状と課題」と

(人口減少・少子高齢化の進行)

- 本県の人口は、平成 11 (1999) 年の約 103 万人をピークとして減少に転じ、令和 5 (2023) 年 4 月 1 日現在の人口は約 92.7 万人と、平成 12 (2000) 年以来 24 年連続の減少となっており、減少幅が拡大傾向となっています。国立社会保障・人口問題研究所の平成 30 年 3 月の推計によると、現状のまま何ら対策を講じなければ、今後、人口減少は加速度的に進むことが見込まれ、令和 22 (2040) 年の本県の総人口は 81 万人程度にまで減少すると推計されています。この間、年少人口、生産年齢人口が減少し、老年人口は増加から維持ヘシフトしていきます。
- さらに、現状のまま何ら対策を講じず推移した場合、令和 42 (2060) 年には、66 万人程度にまで減少すると推計され、経済規模の縮小、社会保障費の増加ひいては地域社会の衰退等が懸念され、高齢者の割合が高く、いびつな人口構造が続くものと見込まれます。
- 本県では、県外への進学や就職などにより、若い世代で県外への転出が多く見られ、特に東京圏及び大阪圏への転出が著しく大きく、このことが人口の社会減に大きな影響を及ぼしています。
- また、本県の合計特殊出生率は、緩やかに上昇していましたが、近年は減少傾向にあるとともに、出産期に当たる女性の数が減少していることを背景に、出生数は減少しています。
- 人口の転出、特に若者の流出が続けば、仮に合計特殊出生率が上昇したとしても出生数は減少が続き、人口の自然減に歯止めがかからなくなり、人口減少は加速度的に進むこととなります。

(人口減少社会への対応)

- 令和 2 (2020) 年 3 月に改訂した「かがわ人口ビジョン」では、令和 42 (2060) 年に人口約 77 万人を維持するという目標を掲げており、人口約 77 万人を維持することができれば、あらゆる世代の人口が均等な安定した人口構造となり、子どもから高齢者まで、あらゆる世代が笑顔で暮らすことができ、安心して働き、結婚し、生み育て、多くの人が集う活気ある香川県を描くことができます。
- このため、まずは、人口の社会増減をプラスに転換するため、若者に魅力のある働く場の創出をはじめ、県内の雇用創出や生活・教育環境の整備など住みやすく魅力ある地域づくりを推進することで、若い世代の県外への流出を防ぐことが必要です。
- また、人口の自然減を抑制するためには、次世代を担う若年層の増加が不可欠です。結婚・妊娠・出産・子育ての希望を実現し、若い世代が安心して出産・子育てができる環境づくりや高齢者の社会参加の促進などの取組みも必要です。

(定住人口の拡大)

- 地方への移住に関心が高まる中、移住検討者に対する本県の魅力の効果的な情報発信のほか、移住希望者への仕事や住まいのマッチング支援など受入体制の充実、安心して暮らし続けてもらえるよう定住のサポートが必要です。
- また、若者の県内定着を促進し、本県経済の活性化を図るため、若者に魅力のある働く場を創出するとともに、県内就職に関する情報発信等を通じて U・J・I ターン等の促進を図ることが重要です。
- さらに、県内大学等の特長を生かした魅力づくりや、学生に対する効果的な広報活動、地域連携活動を通じ、若者の県内定着を促進するため、大学等との連携を強化する必要があります。

1 高大連携事業・進学推進事業【主幹部会：進学・教育部会】

地域社会・地域経済を支える人材の育成・定着を目的として、県内高等学校を始め初等中等教育機関と連携した事業を行うとともに、県内大学等の情報の提供・広報に関する事業を行う。

取組	内容・達成目標・指標	2024年			2025年
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
出前講座・体験講座等への講師派遣	①出前講座 高校生等を対象に大学等の教職員が出前講座を実施する。出前講座等の講座名や内容を年度初めに情報公開し、活用について積極的に働きかける。 ・目標 8 8 件	・企画、準備 ・周知	・実施 ・アンケート調査	・実施 ・アンケート調査	・分析、評価 ・改善等の検討
	②香川わくわく子ども大学 大学等の特色を生かした講座開設により、小学生の学びに向かう力を育成し、課題発見能力や問題解決能力を高める。 ・目標 1 5 講座開講	・企画、準備 ・周知、募集	・実施 ・アンケート調査	・実施 ・アンケート調査	・分析、評価 ・改善等の検討
	③探究型学習支援プロジェクトへの講師派遣 高校の「総合的な探究の時間」に大学等から講師を派遣して指導・助言を行う。香川県教育研究会「探究部会」へ出席し、プラットフォームでの取り組みを周知する。 ・目標 1 校	・企画、準備 ・周知、募集	・実施 ・アンケート調査	・周知、募集 ・実施	・分析、評価 ・改善等の検討
県内大学等合同進学説明会	県内大学等への理解を深めるため、県内大学等が高校に出向き、合同で実施する説明会を、ロールモデルとしての卒業生の参加や運営方法の改善を通じ、より効果的に実施する。 ・目標 7 校	・実施校決定 ・実施	・実施 ・分析、評価 ・改善の検討	・実施 ・分析、評価 ・改善の検討	・次年度の募集
教員対象県内大学等合同進学説明会	高校教員を対象に県内大学等が合同で説明会を実施する。 ・目標 1 回	・企画、準備 ・周知、募集	・周知、募集 ・実施	・実施	・分析、評価 ・改善等の検討
高大連携キャリアデザイン研修	県高等学校PTA連合会との連携による保護者対象の研修（合同説明会）、機関誌やホームページへの寄稿などを行う。 ・大学等合同説明会 目標1回（11月9日）を実施する。 ・機関紙「高P連だより」への大学等記事掲載 目標2回（10月、3月発行）	・企画、準備	・準備	・合同説明会実施 ・機関誌への掲載	・機関誌への掲載 ・分析、評価 ・改善等の検討
共同の広報活動	ホームページ、メディア等を活用して広報活動を積極的に行う。 広報活動を通じて、県内大学等への進学増加や若者の県内定着に繋げる。 ①オープンキャンパスの共同広告 ・日程等の公表 1 回 ・プラットフォーム構成校の相互広報 ②ホームページの活用 ・目標年間50件以上掲載 ③高校設置のパンフレットスタンドを活用 ・目標年 3 回資料補充 ④デジタルキャンパスガイドの活用 ・周知用チラシ作成、配布及び県内外高校生への情報発信 ・目標 1 回 ⑤校長会等での周知、協力依頼 ・目標 1 回	①日程公表 ②情報収集、更新 ③企画、準備、実施 ④企画、準備 ⑤周知	①日程公表 ②情報収集、更新 ③実施 ④チラシ作成、情報発信 ⑤周知	①日程公表 ②情報収集、更新 ③実施 ④情報発信 ⑤周知	①～⑤ 分析、評価、改善等の検討
外国人留学生対象の合同大学進学説明会の開催	外国人留学生対象の合同大学進学説明会を開催する。 ・目標 1 回	・企画、準備 ・周知、募集	・実施	・分析、評価 ・改善等の検討	・分析、評価 ・改善等の検討

2 大学等連携強化事業【主幹部会：進学・教育部会】

地域社会・地域経済を支える人材の育成・定着を目的として、県内大学等が連携して教育の向上及び研究の促進に努めるなど魅力向上に資する事業を行う。

取組	内容・達成目標・指標	2024年			2025年
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
大学間の単位互換	多様かつ柔軟な学修を推進するため、県内大学等の開設科目の相互履修と単位認定を実施する。 ・目標講座数730講座（登録者数12人） ・オンデマンドやeラーニング等のコンテンツを持つ大学等が単位互換科目を設定すること、地域志向科目など共同科目の開発を検討する。	・履修案内 ・実施	・実施	・実施	・分析・評価 ・科目調査 ・履修案内
大学教員のFD・SD研修	・大学等教職員研修を共同実施する。 ・高等教育の中長期グランドデザイン、数理・データサイエンス・AI教育、リスクマネジメント等を研修内容とする。 ・目標 3回（100人参加）	・企画、準備	・実施	・実施	・実施 ・分析、評価 ・改善等の検討
地域における高等教育の中長期グランドデザイン検討会	長期的な高等教育の展望、教育の質の保証等について議論し、大学等の地域における教育改革や教育改善を図る。 ・目標 1回（外部講師招聘による研修会も開催）	・企画、準備	・実施	・分析、評価 ・改善等の検討	・分析、評価 ・改善等の検討
数理・データサイエンス・AI教育事業	県内高等教育機関の学生が、数理・データサイエンス・AIを習得できるよう教育体制の構築・普及を行う。同時に、この分野を牽引できる国際競争力のある人材および産学で活躍できるトップクラスのエキスパート人材を育成する。 ・研修会 1回 他県研修会の随時案内	・企画、準備 ・実施	・実施	・実施	・分析、評価 ・改善等の検討
共同IRの実施	県内大学等に関する進学状況の分析、高校生・保護者・高校教員等への意識調査を実施し高大接続対策に活用する。 ・目標 1回	・企画、準備	・実施	・実施	・分析、評価 ・改善等の検討
学生の国際交流会の開催	・各大学等の外国人学生間の交流の機会を設け交流を促進する。 ・目標 1回（20人参加）	・企画、準備	・企画、準備 ・募集	・実施	・分析、評価 ・改善等の検討
リスクマネジメント活動	災害等に対するリスクマネジメント対応（各部会と連携） ・目標 1回	・企画、準備	・企画、準備 ・募集	・実施	・分析、評価 ・改善等の検討

令和 6 年度スケジュール（案）

月	総会・運営委員会	進学・教育部会	進学・教育部会の主な議題
6 月	総会 運営委員会	第 1 回会議	令和 6 年度事業計画
7 月			
8 月			
9 月		第 2 回会議	事業進捗状況確認
10 月			
11 月			
12 月		第 3 回会議	事業進捗状況確認 令和 7 年度事業計画・予算
1 月			
2 月	運営委員会	第 4 回会議	事業報告 運営委員会・総会報告事項
3 月	総会		

※進学・教育部会ワーキンググループは必要に応じて開催

出前講座アンケート 協力をお願い

この度は出前講座をご利用いただき、誠にありがとうございました。
今後のより良い講座実施のために、アンケートへのご協力をお願いいたします。
なお、アンケートは下記の URL または QR コードからご回答いただけます。

アンケート回答 URL : <https://forms.gle/9cv3DkA8s8bSRmVm7>

QR コード :



【アンケート項目】

1. 貴校名
2. 回答者の職・氏名
3. 出前講座タイトル
4. 講師派遣大学等名
5. 今回、出前講座について主にどのようなことを期待して依頼したか
6. 出前講座の内容は期待どおりだったか
7. 講座実施を踏まえた改善点や要望など

出前講座は、「大学・地域共創プラットフォーム香川」進学・教育部会の事業として、構成大学等と連携して実施しています。本プラットフォームは、香川県内の大学、短期大学及び高等専門学校を基点に、地域の各主体が知見を共有し、連携してこれからの地域を支える観点から、産業界、行政等を加えた産学官のネットワークを形成し、地域社会・経済を支える人材の育成・定着及びその人材が活躍する場の形成に向けた議論と実践による共創を通じて、地域社会の発展に寄与することを目的としています。

(お問合せ先)

大学・地域共創プラットフォーム香川
進学・教育部会 「出前講座」担当
せとうち観光専門職短期大学 三好・川又
TEL : 087-899-7011
E-mail : setouchi@anabuki.ac.jp

(案)

かがわキャンパスガイド 更新ルール

資料 8

作成日：令和6年6月24日

大学・地域共創プラットフォーム香川

進学・教育部会

大学・地域共創プラットフォーム香川 進学・教育部会が作成した「かがわキャンパスガイド」の更新に関するルールを以下のとおり定める。

ページ	URL	更新箇所	更新までのステップ
トップページ	https://chiiki-pf.kagawa-u.ac.jp/kagawacampusguide	トップページ全体	①県が各大学等に照会 又は 各大学等が県に依頼 ②県が PF 事務局に依頼 ③PF 事務局が業者に依頼 ④業者が更新 ⑤逆の順序で完了報告
各大学等のページ	https://chiiki-pf.kagawa-u.ac.jp/campusguide/kagawauniversity (上記は例として香川大学のページ)	下記以外の箇所 (レイアウトや項目に関すること等)	
		大学等名、学部・学科名、大学等概要説明、 HP のリンク、マップピン 「なりたい自分になるための取り組みとサポート」、 「在校生・卒業生の声」、「出身都道府県」、「実習施設例」、 「学部別卒業後の主な進路」、「お問い合わせ先」	①各大学等が PF 事務局に依頼 (県が各大学に照会の場合有) ②PF 事務局が更新 ③逆の順序で完了報告

- 更新は1週間程度かかります（量によっては前後します）。
- 各自の責任において、適切に更新が行われたかを確認する。

【連絡先】

- 大学・地域共創プラットフォーム香川事務局（PF 事務局）担当：児玉・前原 Tel：087-832-1368 Email：platform-kagawa-h@kagawa-u.ac.jp
- 香川県地域活力推進課 担当：島倉・坂本 Tel：087-832-3105 Email：chiiki@pref.kagawa.lg.jp